

## 【表紙】

|            |  |
|------------|--|
| 【提出書類】     | 有価証券報告書  |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条第1項   |
| 【提出先】      | 関東財務局長   |
| 【提出日】      | 平成24年6月26日   |
| 【事業年度】     | 第70期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）  |
| 【会社名】      | 双信電機株式会社   |
| 【英訳名】      | SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.  |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 鶴田 栄一  |
| 【本店の所在の場所】 | 長野県佐久市長土呂800番地38<br>(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」のとおりであります。) |
| 【電話番号】     | 0267(67)4131(代表)   |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役経営企画室長 上岡 崇   |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区三田三丁目13番16号 三田43MTビル13階(東京本社)                                 |
| 【電話番号】     | 03(5730)4500(代表)   |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役経営企画室長 上岡 崇   |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町2番1号)                                   |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### (1) 連結経営指標等

| 回次                         | 第66期         | 第67期         | 第68期         | 第69期         | 第70期         |
|----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 決算年月                       | 平成20年3月      | 平成21年3月      | 平成22年3月      | 平成23年3月      | 平成24年3月      |
| 売上高(千円)                    | 14,701,072   | 11,272,410   | 9,673,454    | 11,734,077   | 11,157,671   |
| 経常利益(は損失)<br>(千円)          | 1,341,813    | 569,747      | 395,277      | 546,019      | 232,607      |
| 当期純利益(は損失)<br>(千円)         | 789,675      | 2,222,985    | 590,183      | 413,913      | 136,977      |
| 包括利益(千円)                   | -            | -            | -            | 396,919      | 141,393      |
| 純資産額(千円)                   | 14,665,299   | 12,091,700   | 11,435,138   | 11,722,770   | 11,722,956   |
| 総資産額(千円)                   | 18,250,031   | 14,955,370   | 14,646,570   | 14,962,675   | 14,701,004   |
| 1株当たり純資産額(円)               | 940.02       | 775.05       | 733.07       | 751.52       | 751.53       |
| 1株当たり当期純利益金額<br>(は損失)(円)   | 50.62        | 142.51       | 37.83        | 26.53        | 8.78         |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>当期純利益金額(円) | -            | -            | -            | -            | -            |
| 自己資本比率(%)                  | 80.4         | 80.8         | 78.1         | 78.3         | 79.7         |
| 自己資本利益率(%)                 | 5.5          | 16.6         | 5.0          | 3.6          | 1.2          |
| 株価収益率(倍)                   | 9.52         | 2.03         | 11.53        | 19.60        | 41.80        |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)   | 1,287,472    | 600,999      | 69,424       | 511,841      | 640,436      |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)   | 1,216,956    | 499,673      | 389,312      | 394,443      | 555,739      |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)   | 227,191      | 247,304      | 93,576       | 129,287      | 144,817      |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高(千円)     | 496,550      | 313,083      | 534,006      | 522,297      | 483,973      |
| 従業員数<br>[外、平均臨時雇用者数](人)    | 880<br>[ 82] | 880<br>[ 71] | 866<br>[ 66] | 878<br>[ 67] | 851<br>[ 91] |

(注) 1. 売上高には消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社グループはキャッシュ・マネジメント・システム(以下、CMSという)を導入しており、余剰資金につきましては短期貸付金として処理しております。このCMSに係る投資活動によるキャッシュ・フローに含まれる短期貸付金の増減額及び残高は次のとおりであります。

| 回次                       | 第66期      | 第67期      | 第68期      | 第69期      | 第70期      |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算年月                     | 平成20年3月   | 平成21年3月   | 平成22年3月   | 平成23年3月   | 平成24年3月   |
| 短期貸付金の純増減額<br>(増加: )(千円) | 105,279   | 220,880   | 764,174   | 43,386    | 126,279   |
| 短期貸付金の期末残高(千円)           | 4,528,325 | 4,307,444 | 3,543,270 | 3,499,884 | 3,626,163 |

(2) 提出会社の経営指標等

| 回次                           | 第66期            | 第67期           | 第68期           | 第69期           | 第70期           |
|------------------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 決算年月                         | 平成20年3月         | 平成21年3月        | 平成22年3月        | 平成23年3月        | 平成24年3月        |
| 売上高(千円)                      | 13,478,457      | 10,173,518     | 8,735,326      | 10,619,633     | 10,162,054     |
| 経常利益(は損失)<br>(千円)            | 916,112         | 562,147        | 343,762        | 1,029,438      | 61,230         |
| 当期純利益(は損失)<br>(千円)           | 518,695         | 2,058,118      | 535,506        | 946,835        | 32,065         |
| 資本金(千円)                      | 3,806,750       | 3,806,750      | 3,806,750      | 3,806,750      | 3,806,750      |
| 発行済株式総数(株)                   | 15,600,000      | 15,600,000     | 15,600,000     | 15,600,000     | 15,600,000     |
| 純資産額(千円)                     | 12,394,094      | 10,105,375     | 9,520,073      | 10,350,773     | 10,193,404     |
| 総資産額(千円)                     | 16,304,865      | 13,058,756     | 12,367,897     | 13,175,963     | 12,810,649     |
| 1株当たり純資産額(円)                 | 794.53          | 647.82         | 610.30         | 663.56         | 653.48         |
| 1株当たり配当額<br>(内1株当たり中間配当額)(円) | 12.00<br>(6.00) | 9.00<br>(6.00) | 6.00<br>(3.00) | 8.00<br>(4.00) | 8.00<br>(4.00) |
| 1株当たり当期純利益金額<br>(は損失)(円)     | 33.25           | 131.94         | 34.33          | 60.70          | 2.06           |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>当期純利益金額(円)   | -               | -              | -              | -              | -              |
| 自己資本比率(%)                    | 76.0            | 77.4           | 77.0           | 78.6           | 79.6           |
| 自己資本利益率(%)                   | 4.2             | 18.3           | 5.5            | 9.5            | 0.3            |
| 株価収益率(倍)                     | 14.50           | 2.20           | 12.70          | 8.57           | 178.16         |
| 配当性向(%)                      | 36.1            | 6.8            | 17.5           | 13.2           | 388.3          |
| 従業員数<br>[外、平均臨時雇用者数](人)      | 502<br>[ 36]    | 467<br>[ 38]   | 457<br>[ 32]   | 410<br>[ 23]   | 403<br>[ 20]   |

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【沿革】

| 年月       | 沿革   |
|----------|--|
| 昭和13年12月 | 故鬼鞍信夫、東京市大森区（現・東京都大田区）で双信電機製作所を創業し、マイコンデンサの製造販売を開始。  |
| 昭和16年11月 | 長野県北佐久郡岩村田町（現・長野県佐久市岩村田）に岩村田工場を開設。   |
| 昭和19年4月  | 資本金15万円で株式会社に改組し、双信電機株式会社に改称する。  |
| 昭和29年12月 | 岩村田工場を分離独立させ長野双信電機株式会社を設立。   |
| 昭和44年12月 | プラスチックフィルムコンデンサの製造のため、宮崎双信電機株式会社を設立。   |
| 昭和49年12月 | 立信電子㈱が発足し、当社が12.7%出資、電子部品等の販売契約を締結。  |
| 昭和57年7月  | ハイブリッドIC製造のため、長野県佐久市猿久保に佐久工場を新設。   |
| 昭和59年11月 | 長野双信電機株式会社を吸収合併し、当社岩村田工場とする。   |
| 昭和60年5月  | 宮崎双信電機株式会社を吸収合併し、当社宮崎工場とする。  |
| 昭和60年11月 | 長野県佐久市長土呂に浅間工場を新設。   |
| 平成元年10月  | ユーザーの海外現地生産に対応するため、合併会社SOSHIN ELECTRONICS(M) SDN.BHD.（以下、双信エレクトロニクスマレーシアという。）を設立。（現・連結子会社）                           |
| 平成元年11月  | 店頭登録銘柄として、社団法人日本証券業協会に登録。  |
| 平成2年2月   | 技術力・販売力等の相互有効活用を目的に、日本碍子株式会社と業務提携。   |
| 平成2年3月   | ハイブリッドIC及び複合電子回路ユニット生産のため、100%出資の高信エレクトロニクス株式会社を設立。  |
| 平成3年9月   | 第三者割当増資により、日本碍子株式会社が関係会社となる。   |
| 平成6年4月   | 佐久工場と野沢工場を統合し、千曲工場と名称を変更。  |
| 平成7年10月  | ハイブリッドIC用基板製造・販売のため、株式会社エム・エレクトの株式51%を日本碍子株式会社より取得。  |
| 平成8年7月   | 北米における販売活動強化のため、100%出資のSOSHIN ELECTRONICS OF AMERICA INC.（以下、双信エレクトロニクス・オブ・アメリカという。）を設立。（現・連結子会社）                    |
| 平成8年10月  | 株式会社エム・エレクトの株式を日本碍子株式会社より追加取得し、100%出資の子会社とする。  |
| 平成9年12月  | 双信エレクトロニクスマレーシアを95%（現・100%）出資の子会社とする。（現・連結子会社）   |
| 平成11年9月  | 日本碍子株式会社が、東京中小企業投資育成株式会社より当社の株式1,216千株を取得し、出資比率40.04%の大株主となる。  |
| 平成12年12月 | 東京証券取引所市場第二部に上場。   |
| 平成14年7月  | 東アジア地区における販売並びに部材調達強化のため、双信エレクトロニクスマレーシアの100%出資子会社としてSOSHIN ELECTRONICS(HK) LIMITED（以下、双信電子（香港）有限公司という）を設立。（現・連結子会社） |
| 平成14年11月 | 東京証券取引所市場第一部に上場。   |
| 平成15年7月  | 本店所在地を東京都大田区から長野県佐久市に移転。   |
| 平成16年4月  | 双信電子（香港）有限公司台湾支店設立。  |
| 平成17年12月 | 長野地区における生産効率向上のため、立信電子株式会社の株式67%を追加取得し、出資比率を90.7%とする。（現・連結子会社）   |
| 平成20年8月  | ヨーロッパ地域の販売活動強化のため、SOSHIN ELECTRONICS EUROPE GmbH（以下、双信エレクトロニクスヨーロッパという）を設立。  |
| 平成20年11月 | 台湾、中華圏の販売活動強化のため、双信電子（香港）有限公司台湾支店を現地法人化し、TAIWAN SOSHIN ELECTRIC CO.,LTD.（以下、台湾双信電機股?有限公司という）を設立。                     |
| 平成21年4月  | 業務合理化、効率化を目的として、連結子会社の高信エレクトロニクス株式会社と株式会社エム・エレクトを合併し、商号を双信デバイス株式会社とする。（現・連結子会社）                                      |
| 平成21年4月  | 主要量産品の製造拠点移管に伴い千曲工場を解消し、千曲技術センターに名称変更。   |
| 平成22年4月  | 持分法適用子会社であった(有)双立電子を有限会社から株式会社に改組し、会社名を双信パワーテック㈱に変更。（現・連結子会社）  |
| 平成22年4月  | 中国でのOEM生産体制の確立と、ローカルコンテンツ対応による同国のインフラ市場への売上拡大を目的に、中国深?市に双信華科技（深?）有限公司を設立。（現・連結子会社）                                   |

### 3【事業の内容】

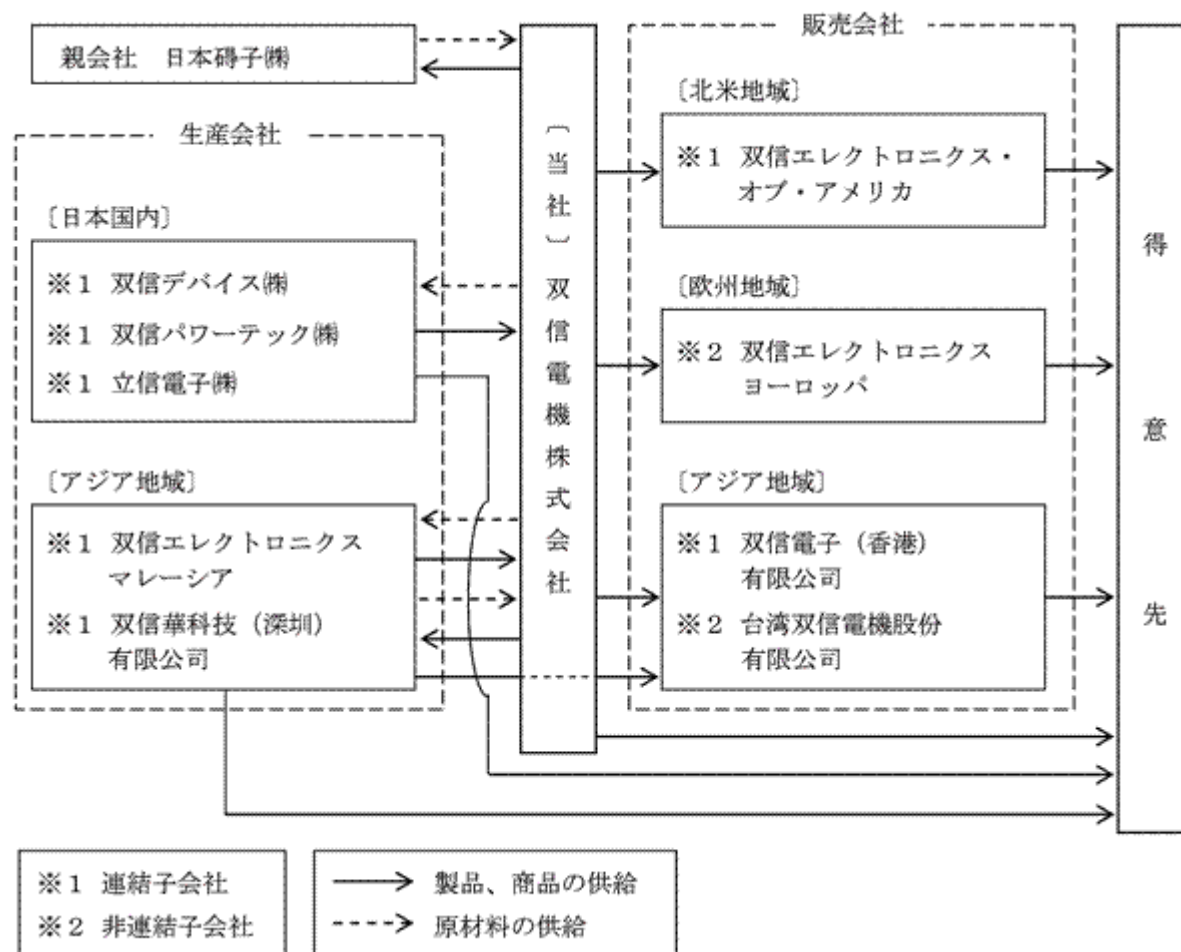
当社グループ（当社および当社の関係会社）は平成24年3月31日現在、双信電機株式会社（当社）および親会社1社、子会社9社により構成されており、事業は産業機器市場、情報通信機器市場向け製品の開発、製造、販売の他、実装事業等を主たる業務としております。

当社グループの事業内容および当社と関係会社の当該事業における位置付けは次のとおりであります。

なお、次の3事業区分は「第5 経理の状況 1. 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項」に掲げるセグメントの区分と同一であります。

| 事業区分     | 主要品目  | 会社名  |
|----------|---|--|
| 産業機器市場   | ノイズフィルタ、マイカコンデンサ、LCフィルタ、プラスチックフィルムコンデンサ、厚膜印刷基板                        | 当社、双信デバイス(株)、双信パワーテック(株)、立信電子(株)、双信エレクトロニクスマレーシア、双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ、双信エレクトロニクスヨーロッパ、双信電子(香港)有限公司、双信華科技(深?)有限公司、台湾双信電機股?有限公司<br>(会社総数10社) |
| 情報通信機器市場 | セラミック多層製品(積層誘電体フィルタ、カプラ、バラン)、マイカコンデンサ、LCフィルタ、フェライトフィルタ、厚膜印刷基板、光通信関連製品 | 当社、日本碍子(株)、双信デバイス(株)、双信パワーテック(株)、立信電子(株)、双信エレクトロニクスマレーシア、双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ、双信エレクトロニクスヨーロッパ、双信電子(香港)有限公司、台湾双信電機股?有限公司<br>(会社総数10社)       |
| その他      | 実装製品  | 当社、双信デバイス(株)、立信電子(株)、双信エレクトロニクスマレーシア<br>(会社総数4社)   |

企業グループの事業系統図は次のとおりであります。



#### 4【関係会社の状況】

##### (1) 親会社

| 会社名                   | 住所                 | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 主要な事業の内容   | 議決権の所有割合又は被所有割合<br>(%) | 関係内容      |            |                      |                  |             |                                  |
|-----------------------|--------------------|-------------------|--|------------------------|-----------|------------|----------------------|------------------|-------------|----------------------------------|
|                       |                    |                   |  |                        | 役員の兼任等    |            | 資金援助<br>貸付金<br>(百万円) | 営業上の<br>取引       | 設備の<br>賃貸借等 | その他の<br>関係内容                     |
|                       |                    |                   |  |                        | 親会社<br>役員 | 親会社<br>従業員 |                      |                  |             |                                  |
| 日本碍子株<br>(注)1<br>(注)2 | 愛知県<br>名古屋市<br>瑞穂区 | 69,849            | がいし等電力関連機器、電子工業用、一般産業用セラミックス製品、特殊金属製品の製造販売及びプラントエンジニアリング事業 | (被所有)<br>40.7          | なし        | 3名         | 2,927                | 同社製品の購入及び当社製品の販売 | なし          | セラミック多層製品に係わる技術面を中心とした緊密な関係にあります |

(注)1. 持分は100分の50以下ではありますが、支配力基準により親会社となったものであります。  
 2. 上記親会社は、有価証券報告書を提出しております。

##### (2) 連結子会社

| 会社名  | 住所                   | 資本金又は出資金         | 主要な事業の内容<br>(注)1    | 議決権の所有割合又は被所有割合<br>(%) | 関係内容   |           |                      |                            |             |              |
|--|----------------------|------------------|---------------------|------------------------|--------|-----------|----------------------|----------------------------|-------------|--------------|
|  |                      |                  |                     |                        | 役員の兼任等 |           | 資金援助<br>貸付金<br>(百万円) | 営業上の<br>取引                 | 設備の<br>賃貸借等 | その他の<br>関係内容 |
|  |                      |                  |                     |                        | 当社役員   | 当社<br>従業員 |                      |                            |             |              |
| 双信デバイス株<br>(注)2  | 宮崎県<br>宮崎市           | 100百万円           | 産業機器市場、情報通信機器市場、その他 | 100.0                  | 2名     | 2名        | -                    | 当社製品の製造委託                  | 土地・建物・機械の貸与 | -            |
| 双信パワーテック株  | 宮崎県<br>都城市           | 100百万円           | 産業機器市場、情報通信機器市場     | 100.0                  | 1名     | 2名        | 5                    | 当社製品の製造委託                  | 土地・建物・機械の貸与 | -            |
| 立信電子株  | 長野県<br>小諸市           | 80百万円            | 産業機器市場、情報通信機器市場、その他 | 100.0                  | 1名     | 3名        | -                    | 当社製品の製造委託                  | 建物・機械の貸与    | -            |
| 双信エレクトロニクスマレーシア<br>(SOSHIN ELECTRONICS(M) SDN. BHD.)<br>(注)2 | MALACCA,<br>MALAYSIA | 16,000千<br>リンギット | 産業機器市場、情報通信機器市場、その他 | 100.0                  | 1名     | 3名        | -                    | 当社製品等の販売<br>同社製品等の仕入       | なし          | -            |
| 双信華科技(深?)<br>有限公司<br>(SOSHIN ELECTRONICS(SZ) LTD.)           | 中国深?                 | 7,686千<br>中国元    | 産業機器市場              | 100.0                  | 1名     | 3名        | -                    | 当社製品の製造委託及び販売              | なし          | -            |
| 双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ<br>(SOSHIN ELECTRONICS OF AMERICA INC.)   | CALIFORNIA,<br>U.S.A | 100千<br>米ドル      | 産業機器市場、情報通信機器市場     | 100.0                  | 1名     | 2名        | -                    | 当社製品等の販売                   | なし          | -            |
| 双信電子(香港)有限公司   | 香港九龍                 | 18,737千<br>香港ドル  | 産業機器市場、情報通信機器市場     | 100.0                  | 1名     | 3名        | -                    | 当社及び双信エレクトロニクスマレーシアの製品等の販売 | なし          | -            |

(注)1. 「主要な事業の内容」欄には、セグメントの名称を記載しております。  
 2. 特定子会社に該当しております。  
 3. 上記連結子会社等のうちには、有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。

## 5【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

(平成24年3月31日現在)

| セグメントの名称 | 従業員数(人)  |
|----------|----------|
| 産業機器市場   | 337 (42) |
| 情報通信機器市場 | 231 (37) |
| 報告セグメント計 | 568 (79) |
| その他      | 76 (8)   |
| 全社(共通)   | 207 (4)  |
| 合計       | 851 (91) |

- (注) 1. 従業員は就業人員であり、臨時雇用者数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
 2. 全社(共通)として記載されている従業員数は、管理部門やその他特定のセグメントに区分して記載することができない部門の所属人員であります。

### (2) 提出会社の状況

(平成24年3月31日現在)

| 従業員数(人)  | 平均年令(才) | 平均勤続年数(年) | 平均年間給与(円) |
|----------|---------|-----------|-----------|
| 403 (20) | 42.1    | 18.0      | 5,382,092 |

| セグメントの名称 | 従業員数(人)  |
|----------|----------|
| 産業機器市場   | 118 (11) |
| 情報通信機器市場 | 86 (6)   |
| 報告セグメント計 | 204 (17) |
| その他      | 0 (0)    |
| 全社(共通)   | 199 (3)  |
| 合計       | 403 (20) |

- (注) 1. 従業員は就業人員であり、臨時雇用者数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
 2. 平均年間給与は、基準外賃金および賞与を含んでおります。  
 3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、管理部門やその他特定のセグメントに区分して記載することができない部門の所属人員であります。

### (3) 労働組合の状況

当社には次の組合が組織されております。なお、労使関係は安定しております。

(平成24年3月31日現在)

| 労働組合の名称  | 組合員数(人) |
|----------|---------|
| 双信電機労働組合 | 388     |

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1)業績

当連結会計年度における経済情勢は、昨年3月の東日本大震災の影響を大きく受けた状況からスタートしましたが、復興の進展とともに緩やかな回復基調で推移しておりました。しかしながら、下期に入りタイで発生した洪水被害や欧州諸国の金融不安が深刻度を増し、さらには歴史的な円高基調の継続などが企業業績を圧迫し、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、産業機器市場は中国を中心とした設備投資需要が比較的好調であった反面、半導体製造装置の需要が急減するなど明暗が分かれる状況となりました。情報通信機器市場はスマートフォンやタブレット型情報通信端末は世界的に需要が高まりましたが、パソコンの出荷はタイ洪水によるハードディスク生産減少の影響を受け一時的に減速しました。

当社グループにおきましては、ノイズ関連市場向けのノイズフィルタは主力としている工作機械向けや環境、新エネルギー向けが好調に推移いたしました。半導体製造装置向けの需要が減少したことにより産業機器市場向けは前連結会計年度並みで推移いたしました。

情報通信機器市場向けは端末向けが昨年のタイ洪水によるパソコンの減産影響を受け減少しましたが、タブレット型情報通信端末等の需要が高水準に推移したことにより、厚膜印刷基板を中心に前連結会計年度に比べて増加いたしました。一方、基地局向けは前連結会計年度におきましては北米基地局市場向けの受注が活況でありましたが、当連結会計年度におきましては欧米市場の市況低迷と客先需要が伸び悩んだ影響を強く受け、全体では前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は111億57百万円（前連結会計年度比4.9%の減少）となりました。

損益につきましては、売上高の減少に加えて円高の影響もあり、営業利益は1億45百万円（前連結会計年度比70.5%の減少）、経常利益は2億32百万円（前連結会計年度比57.4%の減少）となりました。また、有形固定資産の一部について減損損失を計上したこと等により、当期純利益は1億36百万円（前連結会計年度比66.9%の減少）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 産業機器市場

当セグメントの売上高は59億39百万円（前連結会計年度比0.8%の減少）となりました。

ノイズ関連市場向けのノイズフィルタは、環境、新エネルギーおよび工作機械市場向けは堅調に推移いたしました。半導体製造装置市場が調整局面に入ったことにより減少いたしました。

鉄道信号用LCフィルタは、整備新幹線の新規投資で増加いたしました。プラスチックフィルムコンデンサは工作機械、鉄道信号市場向けを中心に増加いたしました。

また、自動車用厚膜印刷基板は東日本大震災およびタイ洪水被害により一時的に減少いたしました。急速な回復により前年並みを確保いたしました。

営業利益は、売上高の減少と中国を中心とする海外市場開拓に向けた初期費用の増加等により、1億42百万円（前連結会計年度比62.6%の減少）となりました。

#### 情報通信機器市場

当セグメントの売上高は42億95百万円（前連結会計年度比8.0%の減少）となりました。

情報通信インフラ市場は、北米、欧州市場の低迷によりフィルタ、カプラ、バランの需要が落ち込み減少いたしました。

情報通信端末市場においては、タブレット型情報通信端末の需要拡大により厚膜印刷基板が増加いたしました。また、携帯端末用積層誘電体フィルタも堅調に推移いたしました。

営業利益は売上高の減少と円高の影響により、営業損失70百万円（前連結会計年度は1億27百万円の利益）となりました。

#### その他

当セグメントの売上高は9億81百万円（前連結会計年度比14.2%の減少）となりました。

当事業の主な内容は上記に含まれない実装事業であり、地上デジタル放送機器関連需要が一巡したことにより減少いたしました。

営業利益は製品構成の変化により収益性の高い製品が増加したことにより81百万円（前連結会計年度比122.0%の増加）となりました。



(2) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、4億83百万円（前連結会計年度末比38百万円の減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは、6億40百万円（前連結会計年度比1億28百万円の増加）となりました。税金等調整前当期純利益は1億57百万円、減価償却費は4億99百万円、固定資産の減損損失は57百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、5億55百万円（前連結会計年度比1億61百万円の増加）となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得3億28百万円、短期貸付金の増加1億26百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、1億44百万円（前連結会計年度比15百万円の増加）となりました。この主な内容は、配当金の支払1億24百万円であります。

## 2【生産・受注及び販売の状況】

### 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称      | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) | 前年同期比(%) |
|---------------|--|----------|
| 産業機器市場 (千円)   | 5,954,928                              | 99.7     |
| 情報通信機器市場 (千円) | 4,301,129                              | 92.7     |
| その他 (千円)      | 971,821                                | 86.4     |
| 合計            | 11,227,878                             | 95.7     |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しており、金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(千円)    | 前年同期比(%) | 受注残高(千円)  | 前年同期比(%) |
|----------|------------|----------|-----------|----------|
| 産業機器市場   | 5,790,375  | 95.9     | 759,614   | 85.9     |
| 情報通信機器市場 | 4,111,234  | 88.7     | 506,187   | 76.4     |
| その他      | 934,150    | 83.1     | 89,227    | 68.6     |
| 合計       | 10,835,759 | 91.8     | 1,355,028 | 80.8     |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称      | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) | 前年同期比(%) |
|---------------|--|----------|
| 産業機器市場 (千円)   | 5,915,509                              | 99.2     |
| 情報通信機器市場 (千円) | 4,267,175                              | 91.8     |
| その他 (千円)      | 974,987                                | 86.9     |
| 合計            | 11,157,671                             | 95.1     |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 3 【対処すべき課題】

エレクトロニクス業界は、産業機器市場における中国市場向け工作機械需要が堅調に推移すると思われることや、情報通信機器市場におけるスマートフォンおよびタブレット型情報通信端末の需要拡大など、それぞれの市場の一部には明るさが見られますが、円高の長期化や中国の景気減速など不透明感の強い事業環境となることが予想されます。

当社グループにおきましては、短期的な事業環境の改善が見込まれない中、収益力の向上と持続的な成長に向けて積極的に経営資源の投入を実施してまいります。

#### <収益力向上に向けて>

検査工程の自動化等による省力化やIT活用による工程管理と品質の改善に向け、今後3年間に亘り積極的な設備投資を展開し、ものづくり体質強化を進めてまいります。

積層誘電体フィルタや厚膜印刷基板等の検査工程を中心とする自動化推進による省力化

ITを活用した工程管理によるトレーサビリティの向上と品質改善

製造拠点の統合による製造コスト削減

作業ロボットの導入による省力化と品質改善

#### <持続的な成長に向けて>

パワーエレクトロニクスと情報通信分野に注力した新製品開発と中国を中心とする新市場での拡販により持続的な成長を果たしてまいります。

昨年度新設した専任部門と特別委員会の活動を通じ、パワーエレクトロニクスと情報通信分野におけるニーズの探索と開発活動を行い、各分野に新製品を投入

昨年設立した中国法人の活動を通じて、国内のお客様である日系企業の中国への進出拡大の機会をとらえた受注獲得

今後の市場拡大が見込まれる新エネルギー市場に対する新製品の開発と拡販

技術的な協業や営業面での販路拡大、品揃えの拡充を目的としたアライアンスの推進

#### 4【事業等のリスク】

有価証券報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成24年6月26日）現在において当社グループが判断したものであります。

##### (1) 情報通信端末機器メーカーへの対応

当社グループの主要市場のひとつである携帯電話、ノートパソコン等の情報通信端末市場は、需要の短期的な変化が非常に激しく、その動向により電子部品メーカーは価格、物量とも著しい影響を受けますが、当社においても恒常的なコストダウンと受注量の短期的変動に生産能力を対応させていくことが課題となっております。

これらの課題に対応できなければ、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### (2) 競合等の影響

当社グループでは、情報通信端末の分野をはじめとして、ほとんどの市場において国内外の複数の競合先との差別化競争にさらされておりますが、当社が継続的に性能、品質やコスト面で優位性のある製品を開発し、製品化および量産化できない場合は、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### (3) 海外進出に対する影響

当社グループでは、積層誘電体フィルタを中心に海外の顧客への依存度が高まっております。また、国内セットメーカーの中国、東南アジアを中心とした現地企業への委託生産に伴い部品を委託先で調達する動きも活発化しており、海外市場での技術対応と販売力の強化が重要な課題となっております。

当社は、このような環境のもと海外営業拠点の販売と技術サポート体制の強化および海外委託生産の展開を図るとともに、海外部品メーカーとの差別化を図るべく国内での高性能な新製品の早期開発、製品化でこれに対応しております。しかし新製品の開発、製品化や海外での拡販活動が遅れた場合には、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### (4) 災害等による影響

当社グループは、日本をはじめとしてアジア、北米等世界各国に生産、販売の拠点を置き、事業活動を展開しております。これらの拠点において地震、火災、台風、洪水等の災害や戦争、テロ行為等が起こった場合、当社グループの設備等が被害を受け、生産および出荷が遅れる可能性があるとともに、損害を被った設備の修復のため多額の費用が発生し、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### 5【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

## 6【研究開発活動】

技術ニーズや技術戦略の変化の激しいエレクトロニクス業界において持続的な成長を果すべく、当社の強みが活かせる分野に集中した新製品開発を推進しております。平成23年4月に、新製品、新市場開発の専任部門として営業本部に「新規事業推進部」を設置、また開発本部に、産業機器分野での新製品開発を目的とした「パワーエレ開発部」およびセラミック材料の通信分野への展開を強化すべく「情報通信部品開発部」を設置し、開発力の強化を図っております。

今後も当社の強みが活かせる分野で研究開発テーマの集中と選択を行い、新製品をタイムリーに市場に投入しグループ全体の持続的な成長と収益性向上を図ってまいります。

当社グループの研究開発活動は開発本部を中心に推進しており、新たな要素技術の研究開発、新製品開発を行っております。当連結会計年度の研究開発費の総額は4億51百万円であります。市場別の研究開発テーマは次のとおりであります。

### 〔産業機器市場〕

環境・新エネルギー機器、鉄道動力用フィルムコンデンサ  
高耐久性マイカコンデンサ  
環境・新エネルギー機器用大電流ノイズフィルタ  
医用機器、産業機器、輸送機器用ノイズフィルタ  
鉄道信号用パワーフィルタ

### 〔情報通信機器市場〕

情報通信端末、ホームネットワーク機器用部品  
次世代通信基地局向け複合部品  
宇宙・防衛・特殊用途向け無線機器用部品

### 〔共通技術〕

高電圧・電流回路、機構設計技術  
ノイズ抑制回路技術  
高周波回路設計技術  
高性能セラミック材料およびプロセス技術

## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成24年6月26日）現在において当社グループが判断したものであります。

### (1)財政状態の分析

当連結会計年度末における資産の総額は、147億1百万円（前連結会計年度末比2億61百万円の減少）となりました。

流動資産は、短期貸付金等の増加により、91億85百万円（前連結会計年度末比77百万円の増加）となりました。

固定資産は、新規設備投資が減価償却費を下回ったため、55億15百万円（前連結会計年度末比3億39百万円の減少）となりました。

負債は、未払金が減少したこと、および法人税率変更の影響で繰延税金負債が減少したため、29億78百万円（前連結会計年度末比2億61百万円の減少）となりました。

純資産は、当期純利益相当額を配当した結果、117億22百万円となり、前連結会計年度末並みとなりました。

これらの結果、当連結会計年度末における自己資本比率は79.7%（前連結会計年度末78.3%）となり、1株当たり純資産額は751円53銭（前連結会計年度末751円52銭）となりました。

### (2)キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度末における資金の状況は、税金等調整前当期純利益は1億57百万円となり、減価償却費を4億99百万円、減損損失を57百万円計上したこと等により、営業活動により得られたキャッシュ・フローは6億40百万円（前連結会計年度比1億28百万円の増加）となりました。また、設備投資資金の支払いによる支出等により投資活動に使用されたキャッシュ・フローは5億55百万円、配当金の支払い等により財務活動に使用されたキャッシュ・フローが1億44百万円となり、換算差額を加えた当連結会計年度末の残高は4億83百万円（前連結会計年度末比38百万円の減少）となりました。

なお、短期貸付金は余剰資金を日本碍子㈱に貸し付けているものであり、当該貸付金残高を含めた実質的な現金及び現金同等物の期末残高は41億10百万円（前連結会計年度末比87百万円の増加）であります。

### (3)経営成績の分析

当連結会計年度における経済情勢は、東日本大震災からの復興による緩やかな回復基調から、下期以降はタイでの洪水被害や欧州諸国の金融不安、歴史的な円高基調の継続などが企業業績を圧迫し先行きは不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く事業環境は、産業機器市場は設備投資需要が比較的好調であった反面、半導体製造装置の需要が急減し明暗が別れる状況となりました。情報通信機器市場はスマートフォンやタブレット型情報通信端末は世界的に需要が高まりましたが、パソコンの出荷はタイ洪水によるハードディスク生産減少の影響を受け一時的に減速しました。

当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高が111億57百万円（前連結会計年度比4.9%の減少）、営業利益が1億45百万円（前連結会計年度比70.5%の減少）、経常利益2億32百万円（前連結会計年度比57.4%の減少）、当期純利益1億36百万円（前連結会計年度比66.9%の減少）となりました。

売上高は、ノイズ関連市場向けのノイズフィルタを中心とした産業機器市場向けは前連結会計年度並みで推移いたしました。情報通信機器市場向けは、タブレット型情報通信端末等の需要が高水準に推移したことにより前連結会計年度に比べて増加いたしました。基地局市場向けの需要減により減少したことで全体では111億57百万円（前連結会計年度比5億76百万円の減少）となりました。

売上総利益は、海外への生産移管の推進、V A / V E、工程改善、品質改善等のコストダウンを推進してまいりましたが、売上高の減少に加えて円高の影響もあり27億31百万円（前連結会計年度比6億17百万円の減少）、売上総利益率は24.5%（前連結会計年度比4.0ポイントの低下）となりました。

販売費及び一般管理費は、売上高減少に伴う販売費の減少と、定年退職等による人員減少で労務費が減少したこと等により25億86百万円（前連結会計年度比2億68百万円の減少）となりました。

その結果、営業利益は1億45百万円（前連結会計年度比3億48百万円の減少）となりました。

営業外損益は、短期貸付金を主とした受取利息及び有価物の売却益等による収益項目から、円高による為替差損等の費用項目を差し引いた結果、営業外損益全体では87百万円の収益となりました。

その結果、経常利益は2億32百万円（前連結会計年度比3億13百万円の減少）となりました。

特別損益は、有形固定資産の除売却損、投資有価証券の評価損や一部の固定資産について減損損失を計上したこと等により、特別損益全体では75百万円の損失となりました。

その結果、税金等調整前当期純利益は1億57百万円（前連結会計年度比3億55百万円の減少）、法人税等を20百万円計上後の当期純利益は1億36百万円（前連結会計年度比2億76百万円の減少）、1株当たり当期純利益金額は8円78銭（前連結会計年度比17円75銭の減少）となりました。

### 第3【設備の状況】

#### 1【設備投資等の概要】

当社グループは当連結会計年度において、新製品開発のための設備、各工場の省力化や老朽化による入替のための製造設備等総額2億61百万円の設備投資を実施いたしました。当連結会計年度の設備投資（金額には消費税等含まない）のセグメントごとの内訳は、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当連結会計年度（百万円） | 前連結会計年度比（％） |
|----------|--------------|-------------|
| 産業機器市場   | 110          | 49.6        |
| 情報通信機器市場 | 87           | 206.2       |
| 報告セグメント計 | 198          | 74.6        |
| その他      | 0            | 1.0         |
| 全社（共通）   | 62           | 39.7        |
| 合計       | 261          | 58.0        |

産業機器市場および情報通信機器市場では主に、厚膜印刷基板の製造用設備に54百万円の投資を実施いたしました。

所要資金は全額自己資金で賄っております。

## 2【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、次のとおりであります。

### (1) 提出会社

(平成24年3月31日現在)

| 事業所名<br>(所在地)         | セグメントの<br>名称       | 設備の内容        | 帳簿価額                |                       |                     |                       | 従業員数<br>(人) |             |
|-----------------------|--------------------|--------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|-------------|-------------|
|                       |                    |              | 建物及び<br>構築物<br>(千円) | 機械装置<br>及び運搬具<br>(千円) | 土地<br>(千円)<br>(面積㎡) | 工具、器具<br>及び備品<br>(千円) |             | 合計<br>(千円)  |
| 浅間工場<br>(長野県佐久市)      | 産業機器市場<br>情報通信機器市場 | 電子部品<br>製造設備 | 257,894             | 138,789               | 219,266<br>(15,176) | 7,954                 | 623,903     | 189<br>[16] |
| 千曲技術センター<br>(長野県佐久市)  | 情報通信機器市場           | 電子部品<br>製造設備 | 120,379             | 85,776                | 131,003<br>(11,606) | 6,062                 | 343,220     | 117<br>[1]  |
| 宮崎事業所(注)2<br>(宮崎県都市)  | 産業機器市場<br>情報通信機器市場 | 電子部品<br>製造設備 | 254,221             | 164,569               | 19,081<br>(12,224)  | 4,986                 | 442,857     | 34<br>[-]   |
| 高岡事業所(注)3<br>(宮崎県宮崎市) | 情報通信機器市場           | 電子部品<br>製造設備 | 56,072              | 9,763                 | 230,386<br>(38,354) | 1,075                 | 297,296     | -<br>[-]    |
| 東京本社<br>(東京都港区)       | 営業部門<br>管理部門他      | 管理業務<br>施設   | 4,202               | 3,748                 | -<br>(-)            | 7,312                 | 15,262      | 63<br>[-]   |

### (2) 国内子会社

(平成24年3月31日現在)

| 会社名     | 事業所名<br>(所在地)        | セグメントの<br>名称           | 設備の内容        | 帳簿価額                |                       |                     |                       | 従業員数<br>(人) |             |
|---------|----------------------|------------------------|--------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|-------------|-------------|
|         |                      |                        |              | 建物及び<br>構築物<br>(千円) | 機械装置<br>及び運搬具<br>(千円) | 土地<br>(千円)<br>(面積㎡) | 工具、器具<br>及び備品<br>(千円) |             | 合計<br>(千円)  |
| 双信デバイス㈱ | 本社工場<br>(宮崎県<br>宮崎市) | 情報通信機器<br>市場           | 電子部品<br>製造設備 | 260,332             | 50,661                | -<br>(-)            | 2,164                 | 313,157     | 85<br>[25]  |
| 双信デバイス㈱ | 宮崎工場<br>(宮崎県<br>宮崎市) | 産業機器市場<br>情報通信機器<br>市場 | 電子部品<br>製造設備 | 239,944             | 169,872               | 95,220<br>(6,997)   | 2,336                 | 507,372     | 123<br>[21] |
| 立信電子㈱   | 本社工場<br>(長野県<br>小諸市) | 産業機器市場<br>情報通信機器<br>市場 | 電子部品<br>製造設備 | 70,153              | 11,739                | 288,500<br>(12,633) | 935                   | 371,327     | 55<br>[-]   |

### (3) 在外子会社

(平成24年3月31日現在)

| 会社名  | 事業所名<br>(所在地)           | 事業部門の<br>名称            | 設備の内容        | 帳簿価額                |                       |                     |                       | 従業員数<br>(人) |            |
|--|-------------------------|------------------------|--------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|-------------|------------|
|  |                         |                        |              | 建物及び<br>構築物<br>(千円) | 機械装置<br>及び運搬具<br>(千円) | 土地<br>(千円)<br>(面積㎡) | 工具、器具<br>及び備品<br>(千円) |             | 合計<br>(千円) |
| 双信エレクトロ<br>ニクスマレーシ<br>ア(SOSHIN<br>ELECTRONICS(M)<br>SDN. BHD.) | 本社工場<br>(マレーシ<br>アマラッカ) | 産業機器市場<br>情報通信機器<br>市場 | 電子部品<br>製造設備 | 38,235              | 39,372                | -<br>(-)            | 187                   | 77,794      | 121<br>[7] |

(注) 1. 金額には消費税等を含めておりません。

2. 本社管轄資産で双信パワーテック㈱(国内子会社)生産委託製品の製造設備であります。

3. 本社管轄資産で双信デバイス㈱(国内子会社)生産委託製品の製造設備であります。

4. 従業員数の[ ]は、臨時従業員数を外書しております。



### 3【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの設備投資につきましては、対処すべき課題に掲げたとおり、収益力の向上に向けた検査工程の自動化やIT活用による品質改善等のものづくり体質強化のための設備投資を中心に、新製品開発、老朽設備の更新等の個別計画を検討し、グループ全体の計画を決定しております。設備投資計画は原則的に各グループ会社の意向を確認し、グループ全体として有効な設備投資となるよう当社を中心に作成、決定しております。

当連結会計年度末現在における設備の新設、改修等に係る投資予定金額は6億1百万円であります。なお、所要資金については全額自己資金で賄う予定であります。

重要な設備の新設、除却等の計画は以下のとおりであります。

#### (1) 新設、拡充および改修等の計画

##### 1. 新設

| 会社名<br>事業所名        | 所在地        | セグメントの<br>名称 | 設備の内容              | 投資予定金額      |               | 資金調達<br>方法 | 着手及び完了予定年月 |         | 完成後の<br>増加能力 |
|--------------------|------------|--------------|--------------------|-------------|---------------|------------|------------|---------|--------------|
|                    |            |              |                    | 総額<br>(百万円) | 既支払額<br>(百万円) |            | 着手         | 完了      |              |
| 双信デバイス(株)<br>宮崎工場  | 宮崎県<br>宮崎市 | 産業機器市場       | 厚膜印刷基板<br>製造用設備    | 175         | -             | 自己資金       | 平成25年3月    | 平成25年9月 | (注)1         |
| 双信デバイス(株)<br>本社工場他 | 宮崎県<br>宮崎市 | 情報通信機器<br>市場 | 積層誘電体フィ<br>ルタ製造用設備 | 99          | -             | 自己資金       | 平成24年4月    | 平成25年3月 | (注)1         |

(注)1. 省力化および品質改善に係る設備であるため、増加能力を算定することが困難であります。従って、具体的な完成後の増加能力は記載しておりません。

2. 上記金額は消費税等を含めておりません。

##### 2. 拡充および改修等

重要な拡充および改修等の計画はありません。

#### (2) 売却および除却等の計画

重要な売却および除却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 34,000,000  |
| 計    | 34,000,000  |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 事業年度末現在発行数<br>(株)<br>(平成24年3月31日) | 提出日現在発行数<br>(株)<br>(平成24年6月26日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容        |
|------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 15,600,000                        | 15,600,000                      | 東京証券取引所<br>市場第一部                   | 単元株式数100株 |
| 計    | 15,600,000                        | 15,600,000                      | -                                  | -         |

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日               | 発行済株式<br>総数増減数<br>(千株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(千株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高(千円) |
|-------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 平成14年7月27日<br>(注) | -                      | 15,600                | -              | 3,806,750     | 2,836,738            | 951,687         |

(注) 平成14年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、資本金及び資本準備金減少差益に振替えたものであります。

#### (6)【所有者別状況】

平成24年3月31日現在

| 区分              | 株式の状況(1単元の株式数100株) |        |              |            |       |    |        | 単元未満株<br>式の状況<br>(株) |       |
|-----------------|--------------------|--------|--------------|------------|-------|----|--------|----------------------|-------|
|                 | 政府及び地方<br>公共団体     | 金融機関   | 金融商品取<br>引業者 | その他の法<br>人 | 外国法人等 |    | 個人その他  |                      |       |
|                 |                    |        |              |            | 個人以外  | 個人 |        |                      |       |
| 株主数(人)          | -                  | 26     | 33           | 52         | 23    | 1  | 5,196  | 5,331                | -     |
| 所有株式数(単元)       | -                  | 17,100 | 1,970        | 65,633     | 1,147 | 15 | 70,101 | 155,966              | 3,400 |
| 所有株式数の割合<br>(%) | -                  | 10.95  | 1.26         | 42.08      | 0.74  | 0  | 44.96  | 100                  | -     |

(注) 1. 自己株式1,272株は「個人その他」に12単元および「単元未満株式の状況」に72株含めて記載しております。

2. 証券保管振替機構名義1,000株は「その他の法人」に10単元含めて記載しております。

(7)【大株主の状況】

平成24年3月31日現在

| 氏名又は名称                     | 住所                 | 所有株式数<br>(千株) | 発行済株式総数に<br>対する所有株式数<br>の割合(%) |
|----------------------------|--------------------|---------------|--------------------------------|
| 日本碍子株式会社                   | 愛知県名古屋市瑞穂区須田町2番56号 | 6,346         | 40.68                          |
| 日本生命保険相互会社                 | 東京都千代田区丸の内1丁目6番6号  | 482           | 3.09                           |
| 鬼鞍 道子                      | 東京都大田区             | 302           | 1.94                           |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)     | 東京都港区浜松町2丁目11番3号   | 188           | 1.21                           |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 東京都中央区晴海1丁目8番11号   | 187           | 1.20                           |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行              | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号  | 180           | 1.15                           |
| 双信電機社員持株会                  | 東京都港区三田3丁目13番16号   | 163           | 1.05                           |
| 西澤 光子                      | 長野県佐久市             | 134           | 0.86                           |
| 荻原 雅隆                      | 長野県小諸市             | 88            | 0.56                           |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号   | 72            | 0.47                           |
| 計                          | -                  | 8,144         | 52.21                          |

( 8 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

| 区分             | 株式数(株)          | 議決権の数(個) | 内容             |
|----------------|-----------------|----------|----------------|
| 無議決権株式         | -               | -        | -              |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -               | -        | -              |
| 議決権制限株式(その他)   | -               | -        | -              |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 1,200      | -        | -              |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 15,595,400 | 155,954  | -              |
| 単元未満株式         | 普通株式 3,400      | -        | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数        | 15,600,000      | -        | -              |
| 総株主の議決権        | -               | 155,954  | -              |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称 | 所有者の住所               | 自己名義所有<br>株式数(株) | 他人名義所有<br>株式数(株) | 所有株式数の<br>合計(株) | 発行済株式総数に<br>対する所有株式数<br>の割合(%) |
|----------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 双信電機株式会社       | 長野県佐久市<br>長土呂800番地38 | 1,200            | -                | 1,200           | 0.01                           |
| 計              | -                    | 1,200            | -                | 1,200           | 0.01                           |

( 9 ) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 2【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号に該当する普通株式の取得

(1)【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2)【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3)【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

| 区分              | 株式数(株) | 価額の総額(円) |
|-----------------|--------|----------|
| 当事業年度における取得自己株式 | 68     | 27,424   |
| 当期間における取得自己株式   | -      | -        |

(注) 当期間による取得自己株式数には、平成24年6月1日からこの有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式は含まれておりません。

(4)【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

| 区分                          | 当事業年度  |            | 当期間    |            |
|-----------------------------|--------|------------|--------|------------|
|                             | 株式数(株) | 処分価額の総額(円) | 株式数(株) | 処分価額の総額(円) |
| 引き受ける者の募集を行った取得自己株式         | -      | -          | -      | -          |
| 消却の処分を行った取得自己株式             | -      | -          | -      | -          |
| 合併、株式交換、会社分割に係る移転を行った取得自己株式 | -      | -          | -      | -          |
| その他<br>(単元未満株式の売渡請求による売渡)   | -      | -          | -      | -          |
| 保有自己株式数                     | 1,272  | -          | 1,272  | -          |

(注) 当期間による保有自己株式数には、平成24年6月1日からこの有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式は含まれておりません。

### 3【配当政策】

当社の利益配分に関する考え方は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つであると認識し、長期的視野に立って安定的な利益を確保することにより株主資本を充実させ企業体質の強化を図ります。その上で、今後の事業展開などを総合的に勘案して成果の配分を行うこととあります。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針とし、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会で機関決定しております。

内部留保資金につきましては設備投資資金、新事業、新製品開発などに有効活用し、競争力の維持、強化と収益力の向上により企業価値向上を図ってまいります。

当期の利益配当金につきましては1株当たり期末配当金を4円とし、既に実施済みの中間配当金4円と合わせて、年間配当金は8円と前連結会計年度と同額とさせていただきます。

当社は、「取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当ができる」旨を定款に定めております。なお、当連結会計年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

| 決議年月日                  | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり配当額<br>(円) |
|------------------------|-----------------|-----------------|
| 平成23年10月28日<br>取締役会決議  | 62              | 4               |
| 平成24年6月26日<br>定時株主総会決議 | 62              | 4               |

### 4【株価の推移】

#### (1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

| 回次    | 第66期    | 第67期    | 第68期    | 第69期    | 第70期    |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 決算年月  | 平成20年3月 | 平成21年3月 | 平成22年3月 | 平成23年3月 | 平成24年3月 |
| 最高(円) | 1,154   | 577     | 495     | 648     | 565     |
| 最低(円) | 441     | 260     | 279     | 310     | 312     |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部によるものであります。

#### (2)【最近6月間の月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成23年10月 | 11月 | 12月 | 平成24年1月 | 2月  | 3月  |
|-------|----------|-----|-----|---------|-----|-----|
| 最高(円) | 380      | 368 | 363 | 344     | 385 | 385 |
| 最低(円) | 350      | 320 | 314 | 312     | 330 | 345 |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部によるものであります。

5 【役員の状況】

| 役名      | 職名  | 氏名     | 生年月日         | 略歴  | 任期   | 所有株式数<br>(百株) |
|---------|---|--------|--------------|---|------|---------------|
| 代表取締役社長 |   | 鶴田 栄一  | 昭和25年 4月12日生 | 昭和49年 3月 日本碍子㈱入社<br>平成11年 4月 同社セラミック事業本部産業機器<br>事業部長<br>平成17年 6月 同社執行役員<br>平成20年 6月 同社取締役常務執行役員<br>平成21年 4月 同社経営戦略本部長<br>平成21年 6月 同社取締役専務執行役員<br>平成22年 4月 当社顧問<br>平成22年 6月 当社代表取締役社長(現)   | (注)3 | 109           |
| 専務取締役   | 社長補佐兼製造・技術管掌<br>兼長野事業所<br>兼長野事業所<br>兼製造改善推進部所管<br>兼調達本部所管 | 森 隆之   | 昭和28年11月25日生 | 昭和52年 3月 日本碍子㈱入社<br>平成14年 6月 当社取締役<br>平成16年 4月 日本碍子㈱人事部長<br>平成17年 6月 同社取締役執行役員<br>平成20年 6月 当社専務取締役兼社長補佐兼技<br>術本部担当兼品質保証本部担当<br>兼環境管理室担当兼製造所管<br>平成21年 1月 当社専務取締役兼社長補佐兼技<br>術・製造所管<br>平成23年 4月 当社専務取締役兼社長補佐兼製造<br>・技術管掌兼長野事業所長<br>兼調達本部所管(現)<br>平成24年 4月 当社製造改善推進部所管兼製造管<br>理部所管兼長野事業所浅間工場長<br>(現) | (注)3 | 50            |
| 常務取締役   | 宮崎事業所長<br>兼海外製造グ<br>ループ担当                                 | 前田 純治郎 | 昭和26年 4月 2日生 | 昭和49年 4月 宮崎双信電機㈱入社<br>平成18年 4月 当社宮崎製造本部副本部長<br>平成20年 4月 当社長野製造本部長兼資材部管掌<br>補佐兼浅間テストラボ管掌補佐<br>平成20年 6月 当社取締役長野製造本部長兼資材<br>部担当兼浅間テストラボ担当<br>平成21年 1月 当社取締役製造統括本部長兼浅間<br>テストラボ担当<br>平成21年 4月 当社製造統括本部浅間工場長<br>平成23年 4月 当社常務取締役宮崎事業所長兼海<br>外製造グループ担当(現)   | (注)3 | 91            |
| 取締役     | 生産技術セン<br>ター長兼開発<br>本部所管兼品<br>質保証本部所<br>管                 | 宮原 稔   | 昭和28年 8月24日生 | 昭和48年 2月 宮崎双信電機㈱入社<br>平成18年 4月 当社宮崎製造本部長<br>平成18年 6月 当社取締役(現)<br>平成21年 1月 当社生産技術センター長兼技術本<br>部担当兼品質保証本部長兼環境管<br>理室長<br>平成23年 4月 当社生産技術センター長兼開発本<br>部所管兼品質保証本部所管(現)  | (注)3 | 98            |

| 役名    | 職名  | 氏名    | 生年月日         | 略歴  | 任期   | 所有株式数<br>(百株) |
|-------|---|-------|--------------|---|------|---------------|
| 取締役   | 経営推進本部長兼経営推進本部経営企画室長兼経営推進本部経理部長兼管理本部所管兼営業本部所管兼中国事業推進部所管 | 上岡 崇  | 昭和31年3月20日生  | 昭和53年3月 日本碍子㈱入社<br>平成9年4月 当社経営企画室長<br>平成11年4月 日本碍子㈱エレクトロニクス事業本部電子企画部長<br>平成19年4月 当社管理本部長<br>平成19年6月 当社取締役(現)<br>平成20年4月 当社経営企画室長<br>平成21年1月 当社資材部担当<br>平成21年6月 当社管理本部経理部長<br>平成23年4月 当社経営推進本部長兼経営推進本部経営企画室長兼経営推進本部経理部長兼管理本部所管(現)<br>平成24年4月 当社営業本部所管兼中国事業推進部所管(現) | (注)3 | 10            |
| 取締役   | 開発本部長兼開発本部開発企画部長  | 杉山 雅彦 | 昭和32年12月24日生 | 昭和56年4月 京セラ㈱入社<br>平成元年7月 日本碍子㈱入社<br>平成17年7月 同社研究開発本部商品開発センターUNプロジェクトマネージャー<br>平成20年4月 当社技術本部長<br>平成21年4月 当社開発本部長兼開発本部開発企画部長(現)<br>平成24年6月 当社取締役(現)  | (注)3 | 30            |
| 常勤監査役 |   | 小林 篤美 | 昭和25年9月22日生  | 昭和48年4月 当社入社<br>平成17年4月 当社技術本部副本部長兼第1技術部長<br>平成19年4月 当社品質保証部長<br>平成21年4月 当社管理本部長付<br>平成21年6月 当社常勤監査役(現)   | (注)4 | 48            |
| 監査役   |   | 豊田 育男 | 昭和36年11月13日生 | 昭和60年3月 日本碍子㈱入社<br>平成17年6月 当社監査役(現)<br>平成19年4月 同社経営戦略本部経営企画室マネージャー<br>平成23年4月 同社エレクトロニクス事業本部企画部長(現)   | (注)4 | -             |
| 監査役   |   | 畑口 紘  | 昭和15年4月8日生   | 昭和42年4月 弁護士登録(第一東京弁護士会)<br>平成2年7月 当社顧問弁護士<br>平成6年4月 第一東京弁護士会副会長<br>平成8年4月 日本弁護士連合会理事<br>平成22年1月 畑口法律事務所所長(現)<br>平成23年6月 当社監査役(現)  | (注)4 | -             |
| 計     |   |       |              |   |      | 436           |

- (注)1. 所有株式数は、百株未満を切り捨てて表示しております。
2. 監査役 豊田育男、畑口紘は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 平成24年6月26日開催の定時株主総会の終結の時から1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までであります。
4. 平成24年6月26日開催の定時株主総会の終結の時から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までであります。
5. 当社は、法令に定める監査役員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第2項に定める補欠監査役1名を選任しております。補欠監査役の略歴はつぎのとおりであります。

| 氏名      | 生年月日         | 略歴   | 所有株式数<br>(百株) |
|---------|--------------|--|---------------|
| 大久保 誠太郎 | 昭和22年11月18日生 | 昭和52年4月 弁護士登録(第二東京弁護士会)<br>昭和53年2月 播磨法律事務所入所<br>平成10年2月 新青山法律事務所代表 | -             |



## 6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### (1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

#### (コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題のひとつと位置づけ、事業活動の適法性と経営の透明性を確保し、会社に係わる全てのステークホルダー（顧客、従業員、地域社会、取引先、株主）から信頼される企業グループとなるため、経営組織体制の整備、経営効率の向上、経営監視機能の強化、法令遵守の徹底に努めることとあります。

#### 企業統治の体制

##### イ．企業統治の体制の概要

当社は株主総会のほか、会社法上の機関として、取締役会、監査役会および会計監査人を設置しています。第70回定時株主総会の承認を受け、有価証券報告書（以下、本報告書という）提出日現在の取締役会は取締役6名、監査役会は監査役3名で構成されており、効率的な経営を行うことが可能な規模であると考えております。

また、取締役、監査役、主要な事業責任者（本部長等）をメンバーとする経営会議を設置し、社内規程に基づいた重要事項の報告、審議を行っております。

##### (取締役会)

取締役会は、本報告書提出日現在において取締役6名で構成されており、迅速かつ的確な意思決定を行うことができる適正な規模と考えております。取締役会は、会社法で定められた事項および経営に関する重要事項について決議し、取締役の職務執行を監督しております。

なお、本年3月31日現在は取締役7名（うち、1名は社外取締役で非常勤）で構成されております。

##### (監査役会)

監査役会は、本報告書提出日現在において監査役3名（うち、2名は社外監査役で非常勤）で構成されております。監査役は、取締役会、経営会議等重要な会議に出席するなどして、取締役の職務執行を監査しております。

なお、本年3月31日現在は監査役3名（うち、2名は社外監査役で非常勤）で構成されております。

##### (会計監査人)

会計監査につきましては、有限責任監査法人トーマツより法定監査を受けており、公正不偏な立場から監査が実施されております。

当社の会計監査業務を執行した公認会計士は次のとおりであります。

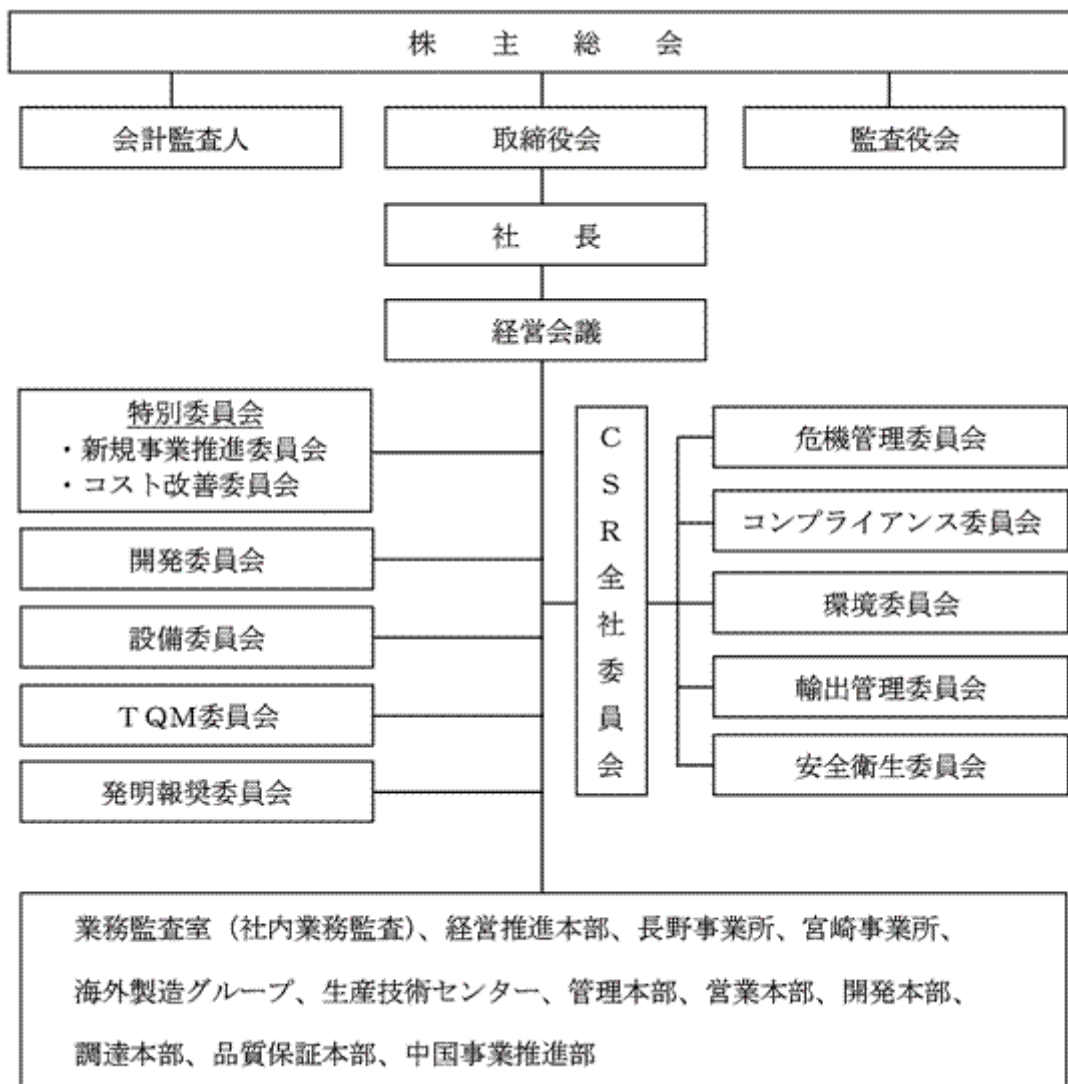
業務を執行した公認会計士の氏名： 指定有限責任社員業務執行社員 森谷 和正  
指定有限責任社員業務執行社員 中島 達弥

また、当社の会計監査業務に係わる補助者は、公認会計士2名、会計士補4名であり、いずれも有限責任監査法人トーマツに所属しております。

##### (経営会議)

毎月2回行われる経営会議は、経営の重要な意思決定をよりスピーディー且つ適正に行うために必要な事項を報告、審議する機関であり、全ての取締役、監査役および社長の指名する従業員により構成されております。

(コーポレート・ガバナンス体制概念図)



ロ．企業統治の体制を採用する理由

上記取締役会、監査役会のうち社外監査役2名を含んだ現状の企業統治体制は、経営の透明性、公平性および経営監視の独立性確保に有効であると判断しています。

また、毎月2回行われる経営会議では取締役、監査役の他、本部長等の主要な従業員が参画し、社内規程に基づいた重要事項の報告、審議を行うことで企業統治を図っております。

ハ．内部統制システムおよびリスク管理体制の整備の状況

当社は、平成18年5月11日開催の取締役会において、会社法および会社法施行規則に基づき、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制その他当社の業務の適正を確保するために必要なものとされる体制を構築することを決議し、平成24年3月30日開催の取締役会において以下のとおりの内容に改定し、平成24年4月1日より施行しております。

1．取締役、使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) 当社は、グループ(当社及び子会社)の全社員が遵守すべき法令、社内規程、企業倫理に関する行動指針を定めた「企業行動指針」を策定し、全役員及び従業員に配布し教育することにより周知徹底を図る。
- (2) 当社は社会的責任を果たすための活動を統括する機能として「CSR全社委員会」を設置する。さらにその実務推進の下部組織として「コンプライアンス委員会」を設置し、「コンプライアンス委員会規程」に基づきグループ全体で法令、規程、企業倫理遵守の強化、徹底を図るものとする。
- (3) 金融商品取引法に基づく「財務報告に係る内部統制の評価及び報告」については経営企画室が全体を統括し、継続的に評価、必要な是正を行い、その適合性を確保する。

- (4) 法令及び企業倫理の遵守を確実なものとするために、取締役及び従業員が企業行動指針に反する行為や予兆に接した場合には所属長、関係部門長、人事部、総務部、法務室、業務監査室に相談、報告する。さらに顧問弁護士に相談、通報するヘルプライン制度を設けるものとする。なお、相談者には不利益な処遇が生じないよう保護を図るものとする。
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (1) 当社は法令、社内規程（文書管理規程）に基づき文書の保存、管理を行い、取締役及び監査役はこれらの情報を常時閲覧できるものとする。
- (2) 情報管理については「情報セキュリティ基本方針」により定めた社内規程（情報セキュリティ規程）に基づき対応するものとする。
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- (1) 事業運営上のリスクについては、関係職制において日々のリスク管理を行うとともに、予算策定等のプロセスにおいて総合的にリスクの検討、分析を行い、これを回避、予防するものとする。
- (2) リスクの発生を未然に防止するための全社統括組織としてCSR全社委員会を設置し、その下部組織に危機管理委員会、コンプライアンス委員会、環境委員会、輸出管理委員会、安全衛生委員会を設ける。
- (3) コンプライアンス委員会は、当社及びグループの社員が遵守すべき事項を定めた「企業行動指針」に基づき、法令、社内規程、企業倫理等のコンプライアンス全般に関する事項について社内の周知徹底とそのリスク発生を未然に防止するための業務を行う。
- さらに環境保全、安全保障輸出管理及び労災の事案については、専門組織としての環境委員会、輸出管理委員会、安全衛生委員会がそれぞれの社内規程に基づきリスクの未然防止のための業務を行う。
- (4) リスクが発生し、経営に重大な影響を及ぼすと予想される場合には、危機管理委員会が対応策の検討、決定、実施にあたる。
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (1) 当社は毎月定例の取締役会及び臨時の取締役会を開催し、重要事項に関する決議及び職務の執行の報告を行う。また、意思決定をよりスピーディーに行うために取締役、事業所長、本部長等が出席する経営会議を毎月2回開催する。
- (2) 取締役の日々の業務執行については、業務分掌規程において業務の範囲及びその責任について定め、職務権限規程で決裁プロセス及び決裁者を定めることで権限委譲を行い、業務執行の効率化を図るものとする。
5. 当社及びその親会社並びに子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- (1) 当社は、親会社である日本碍子グループの「企業行動指針」と整合性を取りつつ、グループ（当社及び子会社）の全社員が遵守すべき法令、社内規程、企業倫理に関する行動指針を定めた「企業行動指針」を制定する。
- (2) グループ全社員が上記指針に反する行為や予兆に接した場合には所属長、関係部門長、人事部、総務部、法務室、業務監査室に相談、報告する。さらに、ヘルプライン制度を設け顧問弁護士に相談、通報することが出来るようにする。
- (3) コンプライアンス委員会は指針の周知徹底を図ることとする。さらに指針に反する行為、または予兆が当社グループに重大な影響を及ぼす恐れがある場合の対応にあたる。
- (4) 子会社の事業運営に関しては、当該子会社の責任者が毎月開催される経営会議に出席し、重要事項に関する提案及び事業状況の報告を行う。
6. 監査役が職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項
- (1) 監査役がその職務を補助する監査役スタッフの設置を求めた場合、或いは内部監査部門の要員に対し補助者として監査業務の補助を行うことを求めた場合、代表取締役は監査役と協議の上、適切に対処するものとする。
7. 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項
- (1) 上記の監査役スタッフ或いは内部監査部門の補助者の人事異動、人事評価、懲戒処分は、監査役会の同意を得て行うものとする。
8. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
- (1) 取締役は職務執行に関する不正行為、法令、定款に違反する重大な事実、会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実を発見したときは、直ちに監査役に報告する。
- (2) 従業員は職務執行に関する不正行為、法令、定款に違反する重大な事実、会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実を発見したときは、直ちに上司、関連部門の取締役または社内担当部門に報告するものとし、報告を受けた上司、関連部門の取締役または社内担当部門は、直ちに監査役に報告する。
- (3) 取締役及び従業員がヘルプライン制度等を通して相談・報告した事案はコンプライアンス委員会事務局より監査役に報告する。

9. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 監査役は重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、取締役会の他、経営会議、CSR全社委員会とその関連委員会等に出席するとともに、主要な稟議書その他業務執行に関する重要な文書を閲覧し、必要に応じて取締役または従業員にその説明を求めることができる。また、業務監査室による内部監査の報告会に出席し、情報収集と課題の摘出に努める。
- (2) 監査役及び監査役会は、代表取締役、監査法人とそれぞれ定期的に意見交換会を開催する。

10. 財務報告の信頼性を確保するための体制

- (1) 当社は、財務報告の信頼性を確保するため、金融商品取引法その他の関連法令に従い、内部統制システムを構築、運用する。
- (2) 内部統制システムの構築にあたり、円滑かつ効果的な運営を行うために「内部統制報告制度に関する規程」に基づき、その有効性を定期的、継続的に評価し、是正が必要な場合には速やかに内部統制システムの見直しを図る。

11. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその体制

- (1) 当社は反社会的勢力等との関係を一切遮断することを基本方針とする。また、反社会的勢力等との関係遮断、不当要求等に対する拒絶等について弁護士や警察等の外部専門機関と連携を図り、情報収集に努めるとともに毅然とした姿勢で組織的に対応する。また、「企業行動指針」にも外部からの不法、不当な圧力に対しては毅然とした態度と行動で対応することを明記し周知徹底を図る。

内部監査および監査役監査の状況

内部監査につきましては、業務監査室が定期的に内部統制の有効性の検証を行っており、その結果は取締役および監査役に報告されております。

監査役会は、本報告書提出日現在3名（うち、2名は社外監査役で非常勤）で構成されており、取締役から独立して取締役の業務執行の適法性を監査しております。また、監査役会は定期的に開催され、各監査役の監査の状況等の確認、意見交換を行っております。その内容に基づき、監査法人との協議、意見交換を実施しております。

また、監査役は取締役会、経営会議の他、経営企画室が所管するCSR全社委員会やその関連委員会、重要会議、業務監査室による内部監査の報告会等に出席し、独立した立場から各部門の情報収集、課題の摘出に努めるなどの連携を図っております。

なお、社外監査役のうち豊田育男氏は、当社の親会社である日本碍子(株)の財務部門に10年間勤務した経験を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

社外監査役

本報告書提出日現在、親会社の日本碍子(株)より社外監査役1名（非常勤）を招聘しております。また、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として社外監査役1名（非常勤）を招聘しており、いずれも人的関係、資本的關係または取引関係その他の利害関係はありません。

社外監査役の豊田育男氏は、企業財務、会計に関する豊富な知識を有しており、当社と独立した立場から、その知識を活かして監査いただくために社外監査役として選任しております。社外監査役の畑口紘氏は、幾多の企業の顧問弁護士の立場から企業経営に関与されており、弁護士として専門的見地から企業法務に高い実績をあげられていることと、幾多の企業で社外監査役を兼職するなど実務経験も豊富であり、当社と独立した立場から、その知識を活かして監査いただくために社外監査役として選任しております。

社外監査役は、定期的に開催される監査役会で各監査役と監査状況等の意見交換を行い、その内容に基づき、代表取締役、監査法人との協議、意見交換を実施する他、業務監査室からの内部監査の状況報告、必要に応じて経営企画室や管理本部等の内部統制部門と情報交換を行うなどの連携を図っております。

社外監査役については、全体の取締役および監査役の構成から見て、企業統治機能を十分に発揮できる選任状況であると考えております。なお、社外監査役を選任するための当社からの独立性に関する具体的な基準は設けておりません。

また、当社は社外取締役を選任しておりません。当社は、経営の意思決定機能を持つ取締役会に対し、監査役3名中2名を社外監査役とすることで経営への監視機能を強化しております。コーポレート・ガバナンスにおきましては、外部からの中立的な経営監視機能が重要と考えており、社外監査役2名による監査が実施されることにより、経営監視機能が十分に機能する体制が整っているものと考えており、現状の体制としております。

役員報酬等

イ．役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額および対象となる役員の員数

| 役員区分              | 報酬等の総額<br>(千円) | 報酬等の種類別の総額(千円) |               |       |        | 対象となる<br>役員の員数<br>(人) |
|-------------------|----------------|----------------|---------------|-------|--------|-----------------------|
|                   |                | 基本報酬           | ストック<br>オプション | 賞与    | 退職慰労金  |                       |
| 取締役<br>(社外取締役を除く) | 142,875        | 120,943        | -             | 6,900 | 15,032 | 6                     |
| 監査役<br>(社外監査役を除く) | 13,325         | 12,300         | -             | -     | 1,025  | 1                     |
| 社外役員              | 5,550          | 5,550          | -             | -     | -      | 4                     |

ロ．使用人兼役員の使用人分給与のうち重要なもの

該当事項はありません。

ハ．役員の報酬の額またはその算定方法の決定に関する方針の内容および決定方法

役員の報酬の額またはその算定方法の決定に関する方針は特段定めておりません。

なお、決定方法につきましては、役員報酬(役員賞与含む)は社内規程に基づき、株主総会で決定した総額の範囲内において決定することとしております。

役員退職慰労金については、株主総会で支給が決定された場合、支給額については役員退職慰労金内規に基づき、退任取締役分は取締役会において、退任監査役分は監査役の協議において決定しております。

株式の保有状況

イ．投資株式のうち保有目的が純投資目的以外の目的であるものの銘柄数および貸借対照表計上額の合計額

1銘柄 3,580千円

ロ．保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式の銘柄、株式数、貸借対照表計上額および保有目的

前事業年度

特定投資株式

| 銘柄    | 株式数(株) | 貸借対照表計上額<br>(千円) | 保有目的      |
|-------|--------|------------------|-----------|
| 山一電機株 | 20,000 | 5,440            | 事業関係強化のため |

当事業年度

特定投資株式

| 銘柄    | 株式数(株) | 貸借対照表計上額<br>(千円) | 保有目的      |
|-------|--------|------------------|-----------|
| 山一電機株 | 20,000 | 3,580            | 事業関係強化のため |

みなし保有株式

該当事項はございません。

八．保有目的が純投資目的である投資株式の前事業年度および当事業年度における貸借対照表計上額の合計額並びに当事業年度における受取配当金、売却損益および評価損益の合計額

|         | 前事業年度<br>(千円)    | 当事業年度(千円)        |               |              |              |
|---------|------------------|------------------|---------------|--------------|--------------|
|         | 貸借対照表計上<br>額の合計額 | 貸借対照表計上<br>額の合計額 | 受取配当金の<br>合計額 | 売却損益の<br>合計額 | 評価損益の<br>合計額 |
| 非上場株式   | 26,043           | 24,997           | 4,000         | -            | (注)          |
| 上記以外の株式 | 154,326          | 148,704          | 2,709         | -            | 34,088       |

(注)非上場株式については市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「評価損益の合計額」は記載しておりません。

コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取組みの最近1年間における実施状況

毎月の取締役会並びに毎月2回開催している経営会議において、重要事項に関する決議や、業績、重要な業務の進捗確認を行っております。

また、「CSR全社委員会」を2回開催し、グループ全体の法令、企業倫理遵守活動の推進状況等について確認するとともに、CSR全社委員会の傘下でCSR全般の実務推進機関である危機管理、コンプライアンス、環境、輸出管理、安全衛生の各専門委員会の活動状況等について確認しております。

取締役の定数

当社の取締役は、15名以内とする旨定款に定めております。

責任限定契約の内容の概要

当社と社外監査役(非常勤)は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとしております。

取締役の選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について、株主総会において議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数の決議をもって行う旨定款に定めております。また、取締役の選任決議は累積投票によらない旨も定款に定めております。

株主総会決議事項を取締役会で決議できるとした事項

(自己株式の取得)

当社は、事業環境の変化に対応した機動的な経営を遂行するため、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議により市場取引等による自己株式の取得をすることができる旨定款に定めております。

(中間配当)

当社は、株主への機動的な利益還元を行うため、会社法第454条第5項の規定により、取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる旨定款に定めております。

株主総会の特別決議要件

当社は、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う旨定款に定めております。これは、株主総会における特別決議の定足数を緩和することにより株主総会の円滑な運営を行うことを目的とするものであります。

( 2 ) 【 監査報酬の内容等】

【 監査公認会計士等に対する報酬の内容】

| 区分    | 前連結会計年度              |                     | 当連結会計年度              |                     |
|-------|----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
|       | 監査証明業務に基<br>づく報酬(千円) | 非監査業務に基<br>づく報酬(千円) | 監査証明業務に基<br>づく報酬(千円) | 非監査業務に基<br>づく報酬(千円) |
| 提出会社  | 32,000               | -                   | 32,000               | -                   |
| 連結子会社 | -                    | -                   | -                    | -                   |
| 計     | 32,000               | -                   | 32,000               | -                   |

【その他重要な報酬の内容】

( 前連結会計年度 )

該当事項はありません。

( 当連結会計年度 )

該当事項はありません。

【 監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

( 前連結会計年度 )

該当事項はありません。

( 当連結会計年度 )

該当事項はありません。

【 監査報酬の決定方針】

当社の監査公認会計士等に対する監査報酬の決定方針としましては、監査公認会計士等から提示された監査計画に基づく監査報酬の見積りを、監査公認会計士等、社内関連部署、および社内の財務、経理の知見を有する者の意見を求めた上で、監査公認会計士等の適切な業務遂行に必要な監査時間が確保される適切な監査報酬か否かを経営および株主の立場にて判断し、監査役会の同意を得て決定することを方針としております。

## 第5【経理の状況】

### 1．連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成しております。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)に基づき作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の連結財務諸表及び第70期事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより監査を受けております。

### 3．連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っております。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、連結財務諸表等を適正に作成することができる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入しております。



1【連結財務諸表等】  
(1)【連結財務諸表】  
【連結貸借対照表】

(単位：千円)

|                  | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>      |                         |                         |
| 流動資産             |                         |                         |
| 現金及び預金           | 602,520                 | 656,880                 |
| 受取手形及び売掛金        | 3,725,408               | 3,804,470               |
| 商品及び製品           | 56,706                  | 127,663                 |
| 仕掛品              | 287,110                 | 235,581                 |
| 原材料及び貯蔵品         | 518,662                 | 510,972                 |
| 繰延税金資産           | 38,940                  | 37,725                  |
| 短期貸付金            | 3,499,884               | 3,626,163               |
| その他              | 378,657                 | 186,134                 |
| 貸倒引当金            | 587                     | 560                     |
| 流動資産合計           | 9,107,300               | 9,185,028               |
| 固定資産             |                         |                         |
| 有形固定資産           |                         |                         |
| 建物及び構築物          | 4,888,718               | 4,918,400               |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 3,511,022               | 3,613,313               |
| 建物及び構築物(純額)      | 1,377,696               | 1,305,087               |
| 機械装置及び運搬具        | 7,033,211               | 7,144,535               |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 6,314,438               | 6,439,790               |
| 機械装置及び運搬具(純額)    | 718,773                 | 704,745                 |
| 土地               | 1,005,722               | 994,622                 |
| 建設仮勘定            | 215,288                 | 40,557                  |
| その他              | 497,014                 | 496,798                 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 449,683                 | 463,383                 |
| その他(純額)          | 47,331                  | 33,415                  |
| 有形固定資産合計         | 3,364,810               | 3,078,426               |
| 無形固定資産           | 56,771                  | 39,381                  |
| 投資その他の資産         |                         |                         |
| 投資有価証券           | 1 206,144               | 1 198,651               |
| 前払年金費用           | 2,036,648               | 2,045,741               |
| 繰延税金資産           | 20,265                  | 31,320                  |
| その他              | 1 179,887               | 1 131,857               |
| 貸倒引当金            | 9,150                   | 9,400                   |
| 投資その他の資産合計       | 2,433,794               | 2,398,169               |
| 固定資産合計           | 5,855,375               | 5,515,976               |
| 資産合計             | 14,962,675              | 14,701,004              |

|               | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                         |
| 流動負債          |                         |                         |
| 支払手形及び買掛金     | 1,076,716               | 987,001                 |
| 短期借入金         | 180,000                 | 160,000                 |
| 未払法人税等        | 121,571                 | 97,170                  |
| 未払金           | 331,323                 | 231,765                 |
| 賞与引当金         | 379,718                 | 372,975                 |
| 役員賞与引当金       | 13,600                  | 6,900                   |
| その他           | 149,029                 | 229,907                 |
| 流動負債合計        | 2,251,957               | 2,085,718               |
| 固定負債          |                         |                         |
| 繰延税金負債        | 867,506                 | 751,627                 |
| 退職給付引当金       | 77,988                  | 82,192                  |
| 役員退職慰労引当金     | 39,991                  | 56,048                  |
| 資産除去債務        | 2,463                   | 2,463                   |
| 固定負債合計        | 987,948                 | 892,330                 |
| 負債合計          | 3,239,905               | 2,978,048               |
| 純資産の部         |                         |                         |
| 株主資本          |                         |                         |
| 資本金           | 3,806,750               | 3,806,750               |
| 資本剰余金         | 3,788,426               | 3,788,426               |
| 利益剰余金         | 4,383,162               | 4,378,959               |
| 自己株式          | 841                     | 868                     |
| 株主資本合計        | 11,977,497              | 11,973,267              |
| その他の包括利益累計額   |                         |                         |
| その他有価証券評価差額金  | 13,278                  | 13,166                  |
| 為替換算調整勘定      | 268,005                 | 263,477                 |
| その他の包括利益累計額合計 | 254,727                 | 250,311                 |
| 純資産合計         | 11,722,770              | 11,722,956              |
| 負債純資産合計       | 14,962,675              | 14,701,004              |

【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】  
 【連結損益計算書】

(単位：千円)

|                     | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高                 | 11,734,077                                  | 11,157,671                                  |
| 売上原価                | 8,384,869                                   | 8,425,817                                   |
| 売上総利益               | 3,349,208                                   | 2,731,854                                   |
| 販売費及び一般管理費          | 1, 2 2,855,063                              | 1, 2 2,586,260                              |
| 営業利益                | 494,145                                     | 145,594                                     |
| 営業外収益               |   |   |
| 受取利息                | 23,909                                      | 25,527                                      |
| 受取配当金               | 5,291                                       | 6,976                                       |
| 物品売却益               | 41,320                                      | 43,498                                      |
| その他                 | 55,949                                      | 29,842                                      |
| 営業外収益合計             | 126,469                                     | 105,843                                     |
| 営業外費用               |   |   |
| 支払利息                | 1,660                                       | 1,448                                       |
| 為替差損                | 61,556                                      | 7,908                                       |
| その他                 | 11,379                                      | 9,474                                       |
| 営業外費用合計             | 74,595                                      | 18,830                                      |
| 経常利益                | 546,019                                     | 232,607                                     |
| 特別利益                |   |   |
| 貸倒引当金戻入額            | 993   | -   |
| 固定資産売却益             | 3 1,210                                     | 3 414                                       |
| 特別利益合計              | 2,203                                       | 414   |
| 特別損失                |   |   |
| 固定資産売却損             | 4 72  | 4 4,121                                     |
| 固定資産除却損             | 5 12,305                                    | 5 4,737                                     |
| 投資有価証券評価損           | 3,112                                       | 9,696                                       |
| 減損損失                | -   | 6 57,332                                    |
| 関係会社清算損             | 3,688                                       | -   |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 16,863                                      | -   |
| 特別損失合計              | 36,040                                      | 75,886                                      |
| 税金等調整前当期純利益         | 512,182                                     | 157,135                                     |
| 法人税、住民税及び事業税        | 110,337                                     | 143,747                                     |
| 法人税等調整額             | 12,068                                      | 123,589                                     |
| 法人税等合計              | 98,269                                      | 20,158                                      |
| 少数株主損益調整前当期純利益      | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 当期純利益               | 413,913                                     | 136,977                                     |

【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

|                | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 413,913                                     | 136,977                                     |
| その他の包括利益       |   |   |
| その他有価証券評価差額金   | 6,917                                       | 112   |
| 為替換算調整勘定       | 10,077                                      | 4,528                                       |
| その他の包括利益合計     | 16,994                                      | <sup>1, 2</sup> 4,416                       |
| 包括利益           | 396,919                                     | 141,393                                     |
| (内訳)           |   |   |
| 親会社株主に係る包括利益   | 396,919                                     | 141,393                                     |
| 少数株主に係る包括利益    | -   | -   |

## 【連結株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|---------------|---|---|
| <b>株主資本</b>   |   |   |
| <b>資本金</b>    |   |   |
| 当期首残高         | 3,806,750                                   | 3,806,750                                   |
| 当期変動額         |   |   |
| 当期変動額合計       | -   | -   |
| 当期末残高         | 3,806,750                                   | 3,806,750                                   |
| <b>資本剰余金</b>  |   |   |
| 当期首残高         | 3,788,426                                   | 3,788,426                                   |
| 当期変動額         |   |   |
| 当期変動額合計       | -   | -   |
| 当期末残高         | 3,788,426                                   | 3,788,426                                   |
| <b>利益剰余金</b>  |   |   |
| 当期首残高         | 4,078,441                                   | 4,383,162                                   |
| 当期変動額         |   |   |
| 剰余金の配当        | 109,192                                     | 124,790                                     |
| 連結範囲の変動       | -   | 16,390                                      |
| 当期純利益         | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 当期変動額合計       | 304,721                                     | 4,203                                       |
| 当期末残高         | 4,383,162                                   | 4,378,959                                   |
| <b>自己株式</b>   |   |   |
| 当期首残高         | 746   | 841   |
| 当期変動額         |   |   |
| 自己株式の取得       | 95  | 27  |
| 当期変動額合計       | 95  | 27  |
| 当期末残高         | 841   | 868   |
| <b>株主資本合計</b> |   |   |
| 当期首残高         | 11,672,871                                  | 11,977,497                                  |
| 当期変動額         |   |   |
| 剰余金の配当        | 109,192                                     | 124,790                                     |
| 当期純利益         | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 連結範囲の変動       | -   | 16,390                                      |
| 自己株式の取得       | 95  | 27  |
| 当期変動額合計       | 304,626                                     | 4,230                                       |
| 当期末残高         | 11,977,497                                  | 11,973,267                                  |

|                      | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|----------------------|---|---|
| <b>その他の包括利益累計額</b>   |   |   |
| <b>その他有価証券評価差額金</b>  |   |   |
| 当期首残高                | 20,195                                      | 13,278                                      |
| 当期変動額                |   |   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）  | 6,917                                       | 112   |
| 当期変動額合計              | 6,917                                       | 112   |
| 当期末残高                | 13,278                                      | 13,166                                      |
| <b>為替換算調整勘定</b>      |   |   |
| 当期首残高                | 257,928                                     | 268,005                                     |
| 当期変動額                |   |   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）  | 10,077                                      | 4,528                                       |
| 当期変動額合計              | 10,077                                      | 4,528                                       |
| 当期末残高                | 268,005                                     | 263,477                                     |
| <b>その他の包括利益累計額合計</b> |   |   |
| 当期首残高                | 237,733                                     | 254,727                                     |
| 当期変動額                |   |   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）  | 16,994                                      | 4,416                                       |
| 当期変動額合計              | 16,994                                      | 4,416                                       |
| 当期末残高                | 254,727                                     | 250,311                                     |
| <b>純資産合計</b>         |   |   |
| 当期首残高                | 11,435,138                                  | 11,722,770                                  |
| 当期変動額                |   |   |
| 剰余金の配当               | 109,192                                     | 124,790                                     |
| 当期純利益                | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 連結範囲の変動              | -   | 16,390                                      |
| 自己株式の取得              | 95  | 27  |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）  | 16,994                                      | 4,416                                       |
| 当期変動額合計              | 287,632                                     | 186   |
| 当期末残高                | 11,722,770                                  | 11,722,956                                  |

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                         | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 税金等調整前当期純利益             | 512,182                                     | 157,135                                     |
| 減価償却費                   | 524,442                                     | 499,005                                     |
| 減損損失                    | -   | 57,332                                      |
| 貸倒引当金の増減額（ は減少）         | 3,330                                       | 250   |
| 賞与引当金の増減額（ は減少）         | 43,671                                      | 6,743                                       |
| 役員退職慰労引当金の増減額（ は減少）     | 13,100                                      | 16,057                                      |
| 役員賞与引当金の増減額（ は減少）       | 13,600                                      | 6,700                                       |
| 受取利息及び受取配当金             | 29,202                                      | 32,503                                      |
| 支払利息                    | 1,660                                       | 1,448                                       |
| 投資有価証券評価損益（ は益）         | 3,112                                       | 9,696                                       |
| 固定資産売却損益（ は益）           | 1,138                                       | 3,707                                       |
| 固定資産除却損                 | 12,305                                      | 4,737                                       |
| 売上債権の増減額（ は増加）          | 185,716                                     | 71,237                                      |
| たな卸資産の増減額（ は増加）         | 146,112                                     | 10,465                                      |
| 仕入債務の増減額（ は減少）          | 84,686                                      | 92,557                                      |
| 退職給付引当金の増減額（ は減少）       | 6,597                                       | 4,204                                       |
| 前払年金費用の増減額（ は増加）        | 118,740                                     | 9,093                                       |
| その他                     | 96,594                                      | 107,874                                     |
| 小計                      | 632,139                                     | 632,147                                     |
| 利息及び配当金の受取額             | 29,628                                      | 32,399                                      |
| 利息の支払額                  | 1,671                                       | 1,448                                       |
| 法人税等の支払額                | 161,446                                     | 164,994                                     |
| 法人税等の還付額                | 13,191                                      | 142,332                                     |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 511,841                                     | 640,436                                     |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 投資有価証券の取得による支出          | 4,253                                       | 4,458                                       |
| 投資有価証券の売却による収入          | 15  | -   |
| 関係会社出資金の払込による支出         | 57,906                                      | -   |
| 定期預金の増減額（ は増加）          | 117,544                                     | 88,466                                      |
| 有形固定資産の取得による支出          | 537,771                                     | 328,710                                     |
| 有形固定資産の売却による収入          | 6,712                                       | 7,504                                       |
| 無形固定資産の取得による支出          | 4,134                                       | 7,666                                       |
| 短期貸付金の増減額（ は増加）         | 2 43,386                                    | 2 126,279                                   |
| その他                     | 41,964                                      | 7,664                                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 394,443                                     | 555,739                                     |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 短期借入金の純増減額（ は減少）        | 20,000                                      | 20,000                                      |
| 自己株式の取得による支出            | 95  | 27  |
| 配当金の支払額                 | 109,192                                     | 124,790                                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 129,287                                     | 144,817                                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 6,993                                       | 6,384                                       |
| 現金及び現金同等物の増減額（ は減少）     | 18,882                                      | 66,504                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 534,006                                     | 522,297                                     |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額    | 7,173                                       | 28,180                                      |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 1 522,297                                   | 1 483,973                                   |

## 【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

### 1. 連結の範囲に関する事項

子会社9社のうち7社について連結しております。  
連結子会社名は「第1 企業の概況 4. 関係会社の状況」に記載しているため、省略しております。  
双信華科技(深?)有限公司は重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。  
また、双信エレクトロニクスヨーロッパおよび台湾双信電機股?有限公司は、総資産、売上高、当期純利益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)等の連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため連結の範囲から除外しております。

### 2. 持分法の適用に関する事項

非連結子会社2社、双信エレクトロニクスヨーロッパおよび台湾双信電機股?有限公司は、当期純利益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)等の連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、かつ全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

### 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、双信エレクトロニクス・オブ・アメリカおよび双信華科技(深?)有限公司については12月末日、双信エレクトロニクスマレーシアおよび双信電子(香港)有限公司については2月末日であり、いずれも連結決算日との差異が3ヵ月を超えないため、当該決算期に係る財務諸表を基礎として連結財務諸表を作成しております。

なお、上記連結子会社の決算日から連結決算日までの間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行うこととしております。

### 4. 会計処理基準に関する事項

#### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

##### イ 有価証券

##### その他有価証券

##### 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定)

##### 時価のないもの

##### 移動平均法による原価法

##### ロ デリバティブ

##### 原則として時価法

##### ハ たな卸資産

##### 原材料及び貯蔵品

主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

##### 商品及び製品、仕掛品

主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

#### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

##### イ 有形固定資産

当社及び国内連結子会社は、建物(附属設備を除く)は定額法、建物以外については定率法によっております。在外子会社の一部は定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 2年~50年

機械装置及び運搬具 2年~8年

##### ロ 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は自社利用のソフトウェア5年であります。

#### (3) 重要な引当金の計上基準

##### イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ロ 賞与引当金

従業員の賞与の支出に備えるため、賞与支給見込額の当連結会計年度負担額を計上しております。

##### ハ 役員賞与引当金

当社は役員の賞与の支出に備えるため、当連結会計年度末における支払見込額を計上しております。



## 二 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌連結会計年度から費用処理しております。

なお、当社は当連結会計年度において、年金資産の額が企業年金制度に係る退職給付債務に当該企業年金制度に係る未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異を加減した額を超えているため、前払年金費用として連結貸借対照表の投資その他の資産に計上しております。

## ホ 役員退職慰労引当金

当社は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

### (4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、振当処理を採用しているものを除き、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。

### (5) 重要なヘッジ会計の方法

#### イ ヘッジ会計の方法

為替予約取引は振当処理によっております。

#### ロ ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...為替予約取引

ヘッジ対象...外貨建金銭債権

#### ハ ヘッジ方針

為替予約取引

将来予想される外貨建金銭債権回収に係る為替変動リスクを回避する目的で為替予約取引を行っており、投機的な取引は行っておりません。

#### ニ ヘッジ有効性評価の方法

為替予約取引

為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、有効性の評価は省略しております。

### (6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

### (7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## 【未適用の会計基準等】

### (連結財務諸表に関する会計基準等)

#### (1) 当該会計基準等の名称およびその概要

名称 「「減価償却に関する当面の監査上の取扱い」の改正について」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会実務指針第81号 平成24年2月14日最終改正）

概要 「経済社会の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号、以下「平成23年度税制改正」という。）において、減価償却資産に係る定率法の償却率の見直しが行われたことに対応するため、「平成23年度税制改正に係る監査上の取扱い」が追加される等の見直しが行われたものであります。

#### (2) 当該会計基準等の適用予定日

平成24年4月1日以後終了する事業年度に係る監査から適用

#### (3) 当該会計基準等が連結財務諸表に与える影響

当連結財務諸表の作成時点において評価中であります。

【表示方法の変更】

(連結損益計算書)

前連結会計年度において独立掲記しておりました「営業外収益」の「助成金収入」は、営業外収益の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「営業外収益」の「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「助成金収入」に表示していた15,707千円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において「特別損失」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損」は、特別損失の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」として表示していた3,112千円は、「投資有価証券評価損」3,112千円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「法人税等の支払額」に含めて表示しておりました「法人税等の還付額」は、重要性が増したため独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「法人税等の支払額」に表示していた148,255千円は、「法人税等の支払額」161,446千円、「法人税等の還付額」13,191千円として組み替えております。

前連結会計年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損益」は、金額的重要性が増したため独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた99,706千円は、「投資有価証券評価損益」3,112千円、「その他」96,594千円として組み替えております。

【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

(連結貸借対照表関係)

1 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

|                  | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 投資有価証券(株式)       | 14,489千円                | 14,489千円                |
| 投資その他の資産その他(出資金) | 62,997                  | 8,439                   |

(連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

|              | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 研究開発費        | 675,784千円                              | 451,183千円                              |
| 給与賃金・賞与金     | 655,862                                | 647,540                                |
| 退職給付費用       | 89,482                                 | 129,079                                |
| 賞与引当金繰入額     | 135,464                                | 125,958                                |
| 役員賞与引当金繰入額   | 13,600                                 | 6,900                                  |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 13,660                                 | 16,058                                 |

2 研究開発費の総額は次のとおりであります。

|  | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--|--|--|
|  | 675,784千円                              | 451,183千円                              |

3 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

|           | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|-----------|--|--|
| 機械装置及び運搬具 | 1,210千円                                | 414千円                                  |

4 固定資産売却損の内容は次のとおりであります。

|           | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|-----------|--|--|
| 機械装置及び運搬具 | 72千円                                   | 221千円                                  |
| 土地        | -                                      | 3,900                                  |
| 計         | 72                                     | 4,121                                  |

5 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

|             | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|-------------|--|--|
| 建物及び構築物     | 1,486千円                                | 3,057千円                                |
| 機械装置及び運搬具   | 2,387                                  | 1,279                                  |
| 有形固定資産(その他) | 1,713                                  | 401                                    |
| 無形固定資産      | 6,719                                  | -                                      |
| 計           | 12,305                                 | 4,737                                  |

6 減損損失

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| 場所      | 用途          | 種類        |
|---------|-------------|-----------|
| 長野県佐久市他 | LCフィルタ用事業資産 | 建物、機械装置 他 |

当社グループにおけるグルーピングは、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位である、管理会計上使用している単位を基礎としております。

LCフィルタ用事業資産については、一般産業機器等のLCフィルタを取り巻く市場環境の変化等により収益性が低下したため、回収可能価額まで減額し、減損損失（57,332千円）を特別損失に計上しました。その内訳は、建物及び構築物1,777千円、機械装置及び運搬具55,372千円およびその他182千円であります。

回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。正味売却価額は、主として見積売却価額に基づき評価しており、売却見込みのない資産については零としております。

なお、前連結会計年度については、該当事項はありません。

（連結包括利益計算書関係）

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1 その他の包括利益に係る組替調整額

その他有価証券評価差額金：

|            |          |         |
|------------|----------|---------|
| 当期発生額      | 11,937千円 |         |
| 組替調整額      | 9,696    | 2,240千円 |
| 為替換算調整勘定：  |          |         |
| 当期発生額      | 4,528    | 4,528   |
| 税効果調整前合計   |          | 2,288   |
| 税効果額       |          | 2,128   |
| その他の包括利益合計 |          | 4,416   |

2 その他の包括利益に係る税効果額

|              | 税効果調整前  | 税効果額    | 税効果調整後 |
|--------------|---------|---------|--------|
| その他有価証券評価差額金 | 2,240千円 | 2,128千円 | 112千円  |
| 為替換算調整勘定     | 4,528   | -       | 4,528  |
| その他の包括利益合計   | 2,288   | 2,128   | 4,416  |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度<br>期首株式数(株) | 当連結会計年度<br>増加株式数(株) | 当連結会計年度<br>減少株式数(株) | 当連結会計年度末<br>株式数(株) |
|-------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 発行済株式 |                     |                     |                     |                    |
| 普通株式  | 15,600,000          | -                   | -                   | 15,600,000         |
| 合計    | 15,600,000          | -                   | -                   | 15,600,000         |
| 自己株式  |                     |                     |                     |                    |
| 普通株式  | 977                 | 227                 | -                   | 1,204              |
| 合計    | 977                 | 227                 | -                   | 1,204              |

(注) 普通株式の自己株式の増加227株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成22年6月25日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 46,797         | 3               | 平成22年3月31日 | 平成22年6月28日 |
| 平成22年10月28日<br>取締役会  | 普通株式  | 62,395         | 4               | 平成22年9月30日 | 平成22年12月3日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 平成23年6月24日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 62,395         | 利益剰余金 | 4               | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 |

当連結会計年度(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度<br>期首株式数(株) | 当連結会計年度<br>増加株式数(株) | 当連結会計年度<br>減少株式数(株) | 当連結会計年度末<br>株式数(株) |
|-------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 発行済株式 |                     |                     |                     |                    |
| 普通株式  | 15,600,000          | -                   | -                   | 15,600,000         |
| 合計    | 15,600,000          | -                   | -                   | 15,600,000         |
| 自己株式  |                     |                     |                     |                    |
| 普通株式  | 1,204               | 68                  | -                   | 1,272              |
| 合計    | 1,204               | 68                  | -                   | 1,272              |

(注) 普通株式の自己株式の増加68株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成23年6月24日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 62,395         | 4               | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 |
| 平成23年10月28日<br>取締役会  | 普通株式  | 62,395         | 4               | 平成23年9月30日 | 平成23年12月5日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 平成24年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 62,394         | 利益剰余金 | 4               | 平成24年3月31日 | 平成24年6月27日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

|                      | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定             | 602,520千円                              | 656,880千円                              |
| 預入期間が3か月を<br>超える定期預金 | 80,223                                 | 172,907                                |
| 現金及び現金同等物            | 522,297                                | 483,973                                |

2 当社及び一部の連結子会社は、日本碍子株が導入しているCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)に参画しております。短期貸付金の増減額は、主としてCMSに係るものであります。

(リース取引関係)

1. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

|     | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| 1年内 | 48,011                  | 1,064                   |
| 1年超 | 4,080                   | 3,015                   |
| 合計  | 52,091                  | 4,080                   |

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定しております。なお、短期貸付金は、当社グループの余剰資金を親会社である日本碍子(株)に運用委託しているものであり、預金と同様の性質を有するものであります。デリバティブは、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行なわない方針であります。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。また、海外で事業を行うにあたり生じる外貨建て営業債権は、為替の変動リスクに晒されておりますが、その一部は先物為替予約取引を利用してヘッジしております。

短期貸付金については、前述のとおりであります。

投資有価証券は、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、市場価格の変動リスクに晒されております。

営業債務である支払手形及び買掛金は、そのほとんどが4ヶ月以内の支払期日であります。一部外貨建てのものについては、同じ外貨建ての売掛金残高の範囲内であり、為替の変動リスクはありません。

短期借入金は、当社子会社の運転資金調達を目的としたものであり、その償還期限は3ヶ月以内であるため、金利の変動リスクは極めて低いと判断しております。

デリバティブ取引は、外貨建ての営業債権に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした先物為替予約取引であります。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針及びヘッジ有効性評価の方法等については、前述の連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計処理基準に関する事項 (5)重要なヘッジ会計の方法」をご参照ください。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

当社は、与信管理規程に従い、営業債権について、営業企画部が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。連結子会社についても、当社の与信管理規程に準じて同様の管理を行っております。

デリバティブ取引の契約先は国際的に優良な金融機関であり、信用リスクは低いと判断しております。

市場リスク(為替や金利等の変動リスク)の管理

当社は、外貨建ての営業債権について、通貨別月別に把握された為替の変動リスクに対して、その一部につき先物為替予約取引を利用してヘッジしております。

先物為替予約取引は社内決裁権限規程により管理しております。

投資有価証券については、定期的に時価や発行体(取引先企業)の財務状況等を把握し、市況や取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

当社は、各部署からの報告に基づき経理部が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

(4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定については変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。また、注記事項「デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりであります。なお時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。(注)2.参照)

前連結会計年度(平成23年3月31日)

|              | 連結貸借対照表計上額<br>(千円) | 時価(千円)    | 差額(千円) |
|--------------|--------------------|-----------|--------|
| (1)現金及び預金    | 602,520            | 602,520   | -      |
| (2)受取手形及び売掛金 | 3,725,408          | 3,725,408 | -      |
| (3)短期貸付金     | 3,499,884          | 3,499,884 | -      |
| (4)投資有価証券    | 164,612            | 164,612   | -      |
| 資産計          | 7,992,424          | 7,992,424 | -      |
| (1)支払手形及び買掛金 | 1,076,716          | 1,076,716 | -      |
| (2)短期借入金     | 180,000            | 180,000   | -      |
| (3)未払金       | 331,323            | 331,323   | -      |
| (4)未払法人税等    | 121,571            | 121,571   | -      |
| 負債計          | 1,709,610          | 1,709,610 | -      |
| デリバティブ取引     | -                  | -         | -      |

当連結会計年度(平成24年3月31日)

|              | 連結貸借対照表計上額<br>(千円) | 時価(千円)    | 差額(千円) |
|--------------|--------------------|-----------|--------|
| (1)現金及び預金    | 656,880            | 656,880   | -      |
| (2)受取手形及び売掛金 | 3,804,470          | 3,804,470 | -      |
| (3)短期貸付金     | 3,626,163          | 3,626,163 | -      |
| (4)投資有価証券    | 158,165            | 158,165   | -      |
| 資産計          | 8,245,678          | 8,245,678 | -      |
| (1)支払手形及び買掛金 | 987,001            | 987,001   | -      |
| (2)短期借入金     | 160,000            | 160,000   | -      |
| (3)未払金       | 231,765            | 231,765   | -      |
| (4)未払法人税等    | 97,170             | 97,170    | -      |
| 負債計          | 1,475,936          | 1,475,936 | -      |
| デリバティブ取引     | -                  | -         | -      |

(注)1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)受取手形及び売掛金及び(3)短期貸付金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4)投資有価証券

株式の時価は取引所の価格によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

負債

(1)支払手形及び買掛金、(2)短期借入金、(3)未払金及び(4)未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照ください。



2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

| 区分    | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|-------|-------------------------|-------------------------|
| 非上場株式 | 41,532                  | 40,486                  |

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(4)投資有価証券」には含めておりません。

3. 金銭債権の連結決算日後の償還予定額

前連結会計年度(平成23年3月31日)

|           | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>10年以内<br>(千円) | 10年超<br>(千円) |
|-----------|--------------|---------------------|----------------------|--------------|
| 現金及び預金    | 602,520      | -                   | -                    | -            |
| 受取手形及び売掛金 | 3,725,408    | -                   | -                    | -            |
| 短期貸付金     | 3,499,884    | -                   | -                    | -            |
| 合計        | 7,827,812    | -                   | -                    | -            |

当連結会計年度(平成24年3月31日)

|           | 1年以内<br>(千円) | 1年超<br>5年以内<br>(千円) | 5年超<br>10年以内<br>(千円) | 10年超<br>(千円) |
|-----------|--------------|---------------------|----------------------|--------------|
| 現金及び預金    | 656,880      | -                   | -                    | -            |
| 受取手形及び売掛金 | 3,804,470    | -                   | -                    | -            |
| 短期貸付金     | 3,626,163    | -                   | -                    | -            |
| 合計        | 8,087,513    | -                   | -                    | -            |

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前連結会計年度(平成23年3月31日)

|                        | 種類      | 連結貸借対照表計上額(千円) | 取得原価(千円) | 差額(千円) |
|------------------------|---------|----------------|----------|--------|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの  | (1) 株式  | 107,923        | 63,787   | 44,135 |
|                        | (2) 債券  |                |          |        |
|                        | 国債・地方債等 | -              | -        | -      |
|                        | 社債      | -              | -        | -      |
|                        | その他     | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | 107,923        | 63,787   | 44,135 |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式  | 56,689         | 69,273   | 12,584 |
|                        | (2) 債券  |                |          |        |
|                        | 国債・地方債等 | -              | -        | -      |
|                        | 社債      | -              | -        | -      |
|                        | その他     | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | 56,689         | 69,273   | 12,584 |
| 合計                     |         | 164,612        | 133,061  | 31,551 |

(注) 非上場株式(連結貸借対照表計上額 41,532千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当連結会計年度（平成24年3月31日）

|                        | 種類      | 連結貸借対照表計上額（千円） | 取得原価（千円） | 差額（千円） |
|------------------------|---------|----------------|----------|--------|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの  | (1) 株式  | 119,576        | 80,767   | 38,808 |
|                        | (2) 債券  |                |          |        |
|                        | 国債・地方債等 | -              | -        | -      |
|                        | 社債      | -              | -        | -      |
|                        | その他     | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | 119,576        | 80,767   | 38,808 |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式  | 38,588         | 47,040   | 8,451  |
|                        | (2) 債券  |                |          |        |
|                        | 国債・地方債等 | -              | -        | -      |
|                        | 社債      | -              | -        | -      |
|                        | その他     | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | 38,588         | 47,040   | 8,451  |
| 合計                     |         | 158,165        | 127,807  | 30,356 |

（注）非上場株式（連結貸借対照表計上額 40,486千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「其他有価証券」には含めておりません。

## 2. 減損処理を行った有価証券

前連結会計年度において、有価証券について3,112千円（投資有価証券の株式3,112千円）、当連結会計年度において、有価証券について9,696千円（投資有価証券の株式9,696千円）減損処理を行っております。

(デリバティブ取引関係)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

通貨関連

前連結会計年度(平成23年3月31日)

| ヘッジ会計の方法   | 取引の種類               | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>(千円) | 契約額等のうち1年超<br>(千円) | 時価<br>(千円) |
|------------|---------------------|---------|--------------|--------------------|------------|
| 為替予約等の振当処理 | 為替予約取引<br>売建<br>米ドル | 売掛金     | 13,261       | -                  | (注)        |

(注) 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされる受取手形及び売掛金と一体として処理されているため、その時価は、当該受取手形及び売掛金の時価に含めて記載しております。

当連結会計年度(平成24年3月31日)

| ヘッジ会計の方法   | 取引の種類               | 主なヘッジ対象 | 契約額等<br>(千円) | 契約額等のうち1年超<br>(千円) | 時価<br>(千円) |
|------------|---------------------|---------|--------------|--------------------|------------|
| 為替予約等の振当処理 | 為替予約取引<br>売建<br>米ドル | 売掛金     | 32,021       | -                  | (注)        |

(注) 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされる受取手形及び売掛金と一体として処理されているため、その時価は、当該受取手形及び売掛金の時価に含めて記載しております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として適格退職年金制度を設けておりましたが、平成20年2月29日に確定給付年金制度に移行しております。当社はこの他に複数事業主制度による企業年金（東京都電機厚生年金基金）に加盟しております。

また、従業員の退職等に際して、退職給付会計に準拠した数理計算による退職給付債務の対象とされない割増退職金を支払う場合があります。

国内連結子会社の一部については、中小企業退職金共済制度、特定退職金共済制度に加入しております。

2. 退職給付債務及びその内訳

|                                 | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1) 退職給付債務(千円)                  | 4,200,953               | 4,184,939               |
| (2) 年金資産(千円)                    | 5,543,845               | 5,558,375               |
| (3) 未積立退職給付債務(1)+(2)(千円)        | 1,342,891               | 1,373,435               |
| (4) 未認識数理計算上の差異(千円)             | 1,476,117               | 1,293,603               |
| (5) 未認識過去勤務債務(債務の減額)(千円)        | 860,348                 | 703,490                 |
| (6) 連結貸借対照表計上額純額(3)+(4)+(5)(千円) | 1,958,660               | 1,963,549               |
| (7) 前払年金費用(千円)                  | 2,036,648               | 2,045,741               |
| (8) 退職給付引当金(6)-(7)(千円)          | 77,988                  | 82,192                  |

(注) 1. 連結子会社の一部については、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

2. 平成18年3月期において当社は、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第3号平成17年3月16日）及び「退職給付に係る会計基準」の一部改正に関する適用指針（企業会計基準適用指針第7号平成17年3月16日）を適用し、未認識年金資産を未認識数理計算上の差異に振り替えております。

3. 平成15年3月期において当社は、適格退職年金制度における給付水準減額の制度変更を行ったため、過去勤務債務（債務の減額）が発生しております。

4. 平成20年2月29日において当社は、適格退職年金制度より確定給付年金制度へ制度変更を行ったため、過去勤務債務（債務の減額）が発生しております。

3. 退職給付費用の内訳

|                          | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 退職給付費用(千円)               | 221,397                                | 329,445                                |
| (1) 勤務費用(千円)             | 145,327                                | 148,168                                |
| (2) 利息費用(千円)             | 80,973                                 | 82,459                                 |
| (3) 期待運用収益(減算)(千円)       | 171,575                                | 166,315                                |
| (4) 数理計算上の差異の費用処理額(千円)   | 131,247                                | 235,417                                |
| (5) 過去勤務債務の費用処理額(千円)     | 156,858                                | 156,858                                |
| (6) 割増退職金                | 18,042                                 | 19,780                                 |
| (7) 総合設立型厚生年金基金の年金掛金(千円) | 174,240                                | 166,792                                |

(注) 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、「(1)勤務費用」に含めております。

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

|                      | 前連結会計年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| (1) 割引率(%)           | 2.0                                    | 2.0                                    |
| (2) 期待運用収益率(%)       | 3.0                                    | 3.0                                    |
| (3) 退職給付見込額の期間配分方法   | 期間定額基準                                 | 期間定額基準                                 |
| (4) 過去勤務債務の額の処理年数(年) | 10                                     | 10                                     |
| (5) 数理計算上の差異の処理年数(年) | 10                                     | 10                                     |

5. 拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度による企業年金に関する事項

(1) 制度全体の積立状況に関する事項

|                    | 前連結会計年度<br>(平成22年3月31日現在) | 当連結会計年度<br>(平成23年3月31日現在) |
|--------------------|---------------------------|---------------------------|
| 年金資産の額(千円)         | 267,165,347               | 258,978,931               |
| 年金財政計算上の給付債務の額(千円) | 304,796,095               | 300,200,304               |
| 差引額(千円)            | 37,630,747                | 41,221,372                |

- (2) 制度全体に占める当社グループの掛金拠出割合  
 前連結会計年度 1.8%(平成22年3月31日現在)  
 当連結会計年度 1.8%(平成23年3月31日現在)

- (3) 補足説明  
 上記(1)の差引額の主な要因は、年金財政計算上の資産評価調整額(前連結会計年度37,528,820千円、当連結会計年度14,970,471千円)であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間20年の元利均等償却であります。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|              | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| 繰延税金資産(流動)   |                         |                         |
| 賞与引当金        | 154,073千円               | 143,703千円               |
| 未払社会保険料等     | 19,001                  | 18,025                  |
| 未払事業税        | 13,850                  | 10,097                  |
| 棚卸資産評価減      | -                       | 8,730                   |
| その他          | 2,810                   | 192                     |
| 繰延税金資産小計     | 189,734                 | 180,747                 |
| 評価性引当額       | 150,794                 | 143,022                 |
| 繰延税金資産合計     | 38,940                  | 37,725                  |
| 繰延税金資産(固定)   |                         |                         |
| 退職給付引当金      | 31,166                  | 29,373                  |
| 役員退職慰労引当金    | 16,168                  | 19,668                  |
| 貸倒引当金        | 3,699                   | 3,298                   |
| 有価証券等評価損     | 5,275                   | 4,582                   |
| 減価償却超過額      | 52,107                  | 41,036                  |
| 減損損失         | 246,045                 | 189,857                 |
| 繰越欠損金        | 826,685                 | 798,940                 |
| その他          | 17,423                  | 16,945                  |
| 繰延税金資産小計     | 1,198,568               | 1,103,699               |
| 評価性引当額       | 1,178,303               | 1,072,379               |
| 繰延税金資産合計     | 20,265                  | 31,320                  |
| 繰延税金負債(固定)   |                         |                         |
| 固定資産圧縮積立金    | 34,919                  | 24,885                  |
| その他有価証券評価差額金 | 9,170                   | 7,042                   |
| 前払年金費用       | 823,417                 | 719,078                 |
| その他          | -                       | 622                     |
| 繰延税金負債合計     | 867,506                 | 751,627                 |
| 繰延税金負債の純額    | 808,301                 | 682,582                 |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                      | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 法定実効税率               | 40.4%                   | 40.1%                   |
| (調整)                 |                         |                         |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目   | 1.8                     | 4.6                     |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | 56.0                    | 0.9                     |
| 住民税均等割               | 2.8                     | 9.1                     |
| 評価性引当額               | 30.7                    | 26.8                    |
| 連結子会社実効税率差異          | 2.4                     | 0.8                     |
| 連結上消去された連結子会社の配当金    | 55.8                    | -                       |
| 税率変更による期末繰延税金負債の減額修正 | -                       | 68.2                    |
| その他                  | 2.7                     | 0.5                     |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率    | 19.2                    | 12.8                    |

### 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来40.4%から平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.5%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.1%となります。

この税率変更により、繰延税金負債の金額（繰延税金資産の金額を控除した金額）は108,312千円、法人税等調整額が107,241千円、それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が1,071千円増加しております。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、フィルタ、コンデンサ、厚膜印刷基板等を製造、販売しており、製品市場別に戦略ビジネスユニット（以下S B U）を置き、各S B Uは、対象市場において国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループはS B Uを基礎とした市場別のセグメントから構成されており、「産業機器市場」、「情報通信機器市場」の2つを報告セグメントとしております。

「産業機器市場」は産業用機械、鉄道、自動車市場向製品を販売しております。「情報通信機器市場」は情報通信インフラ市場向、情報通信端末市場向の製品を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

(単位：千円)

|                        | 報告セグメント    |              |            | その他<br>(注) 1 | 合計         | 調整額<br>(注)<br>2、3 | 連結<br>財務諸表<br>計上額<br>(注) 4 |
|------------------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|-------------------|----------------------------|
|                        | 産業機器<br>市場 | 情報通信<br>機器市場 | 計          |              |            |                   |                            |
| 売上高                    |            |              |            |              |            |                   |                            |
| 外部顧客への売上高              | 5,965,551  | 4,646,373    | 10,611,924 | 1,125,196    | 11,737,120 | 3,043             | 11,734,077                 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高      | 22,574     | 24,023       | 46,597     | 19,187       | 65,784     | 65,784            | -                          |
| 計                      | 5,988,125  | 4,670,396    | 10,658,521 | 1,144,383    | 11,802,904 | 68,827            | 11,734,077                 |
| セグメント利益                | 382,249    | 127,713      | 509,962    | 36,603       | 546,565    | 52,420            | 494,145                    |
| セグメント資産                | 3,136,147  | 2,166,576    | 5,302,723  | 350,684      | 5,653,407  | 9,309,268         | 14,962,675                 |
| その他の項目                 |            |              |            |              |            |                   |                            |
| 減価償却費                  | 119,702    | 186,507      | 306,209    | 27,732       | 333,941    | 190,501           | 524,442                    |
| 有形固定資産及び無形<br>固定資産の増加額 | 255,419    | 42,414       | 297,833    | 26,825       | 324,658    | 129,981           | 454,639                    |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、S B Uで管理していない実装製品等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 52,420千円は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント資産の調整額9,309,268千円は主に全社資産であり、その内容は当社での余資運用資金（現金及び預金、短期貸付金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

（単位：千円）

|                    | 報告セグメント    |              |            | その他<br>(注) 1 | 合計         | 調整額<br>(注)<br>2、3 | 連結<br>財務諸表<br>計上額<br>(注) 4 |
|--------------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|-------------------|----------------------------|
|                    | 産業機器<br>市場 | 情報通信<br>機器市場 | 計          |              |            |                   |                            |
| 売上高                |            |              |            |              |            |                   |                            |
| 外部顧客への売上高          | 5,915,509  | 4,267,175    | 10,182,684 | 976,555      | 11,159,239 | 1,568             | 11,157,671                 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高  | 24,194     | 28,110       | 52,304     | 5,348        | 57,652     | 57,652            | -                          |
| 計                  | 5,939,703  | 4,295,285    | 10,234,988 | 981,903      | 11,216,891 | 59,220            | 11,157,671                 |
| セグメント利益又は損失( )     | 142,946    | 70,610       | 72,336     | 81,252       | 153,588    | 7,994             | 145,594                    |
| セグメント資産            | 3,135,552  | 2,068,169    | 5,203,721  | 346,327      | 5,550,048  | 9,150,956         | 14,701,004                 |
| その他の項目             |            |              |            |              |            |                   |                            |
| 減価償却費              | 114,902    | 137,061      | 251,963    | 29,172       | 281,135    | 217,870           | 499,005                    |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 110,594    | 87,454       | 198,048    | 257          | 198,305    | 70,336            | 268,641                    |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、S B Uで管理していない実装製品等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 7,994千円は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント資産の調整額9,150,956千円は主に全社資産であり、その内容は当社での余資運用資金（現金及び預金、短期貸付金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。

4. セグメント利益又は損失( )は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

| 日本        | 北米      | アジア       | その他     | 合計         |
|-----------|---------|-----------|---------|------------|
| 9,344,640 | 113,563 | 1,366,737 | 332,731 | 11,157,671 |

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

（単位：千円）

|      | 産業機器市場 | 情報通信機器市場 | その他 | 全社・消去 | 合計     |
|------|--------|----------|-----|-------|--------|
| 減損損失 | 32,047 | 25,285   | -   | -     | 57,332 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

1. 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地     | 資本金又は出資金（千円） | 事業の内容又は職業  | 議決権等の所有（被所有）割合（％）    | 関連当事者との関係              | 取引の内容 | 取引金額（千円）  | 科目        | 期末残高（千円）  |
|-----|------------|---------|--------------|--|----------------------|------------------------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 親会社 | 日本碍子㈱      | 名古屋市瑞穂区 | 69,849,166   | がいし等電力関連機器、産業用セラミックス製品、特殊金属製品の製造販売及びプラントエンジニアリング事業 | （被所有）<br>直接<br>40.7% | 同社製品の購入及び当社製品の販売、資金の貸付 | 資金の貸付 | 3,897,360 | 短期貸付金     | 3,000,887 |
|     |            |         |              |  |                      |                        | 利息の受取 | 17,243    | 流動資産（その他） | 1,456     |

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地     | 資本金又は出資金（千円） | 事業の内容又は職業  | 議決権等の所有（被所有）割合（％）    | 関連当事者との関係              | 取引の内容 | 取引金額（千円）  | 科目        | 期末残高（千円）  |
|-----|------------|---------|--------------|--|----------------------|------------------------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 親会社 | 日本碍子㈱      | 名古屋市瑞穂区 | 69,849,166   | がいし等電力関連機器、産業用セラミックス製品、特殊金属製品の製造販売及びプラントエンジニアリング事業 | （被所有）<br>直接<br>40.7% | 同社製品の購入及び当社製品の販売、資金の貸付 | 資金の貸付 | 2,277,061 | 短期貸付金     | 2,927,948 |
|     |            |         |              |  |                      |                        | 利息の受取 | 17,066    | 流動資産（その他） | 1,461     |

- (注) 1. 当社は、日本碍子㈱が導入しているCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）に参画しております。資金の貸付についてはCMSに係るものであり、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、担保は受入れておりません。
2. 被所有割合は100分の50以下ではありますが、支配力基準により親会社としたものであります。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

前連結会計年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地     | 資本金又は出資金（千円） | 事業の内容又は職業  | 議決権等の所有（被所有）割合（％）    | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額（千円）  | 科目        | 期末残高（千円） |
|-----|------------|---------|--------------|--|----------------------|-----------|-------|-----------|-----------|----------|
| 親会社 | 日本碍子㈱      | 名古屋市瑞穂区 | 69,849,166   | がいし等電力関連機器、産業用セラミックス製品、特殊金属製品の製造販売及びプラントエンジニアリング事業 | （被所有）<br>直接<br>40.7% | 資金の貸付     | 資金の貸付 | 3,342,264 | 短期貸付金     | 498,996  |
|     |            |         |              |  |                      |           | 利息の受取 | 3,065     | 流動資産（その他） | 220      |

当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

| 種類  | 会社等の名称又は氏名 | 所在地     | 資本金又は出資金（千円） | 事業の内容又は職業  | 議決権等の所有（被所有）割合（％）    | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額（千円）  | 科目        | 期末残高（千円） |
|-----|------------|---------|--------------|--|----------------------|-----------|-------|-----------|-----------|----------|
| 親会社 | 日本碍子㈱      | 名古屋市瑞穂区 | 69,849,166   | がいし等電力関連機器、産業用セラミックス製品、特殊金属製品の製造販売及びプラントエンジニアリング事業 | （被所有）<br>直接<br>40.7% | 資金の貸付     | 資金の貸付 | 1,330,219 | 短期貸付金     | 698,215  |
|     |            |         |              |  |                      |           | 利息の受取 | 3,386     | 流動資産（その他） | 318      |

- (注) 1. 当社の一部の連結子会社は、日本碍子㈱が導入しているCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）に参画しております。資金の貸付についてはCMSに係るものであり、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、担保は受入れておりません。
2. 被所有割合は100分の50以下ではありますが、支配力基準により親会社としたものであります。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

日本碍子株式会社（東京、名古屋証券取引所に上場）

(注) 被所有割合は100分の50以下ではありますが、支配力基準により親会社としたものであります。

(2) 重要な関連会社の要約情報

該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

|               | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|---------------|---|---|
| 1 株当たり純資産額    | 751.52円                                     | 751.53円                                     |
| 1 株当たり当期純利益金額 | 26.53円                                      | 8.78円                                       |

(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 . 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                     | 前連結会計年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 当期純利益金額 (千円)        | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円)   | -   | -   |
| 普通株式に係る当期純利益金額 (千円) | 413,913                                     | 136,977                                     |
| 期中平均株式数 (株)         | 15,598,867                                  | 15,598,768                                  |

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

【連結附属明細表】

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

| 区分                     | 当期首残高<br>(千円) | 当期末残高<br>(千円) | 平均利率<br>(%) | 返済期限 |
|------------------------|---------------|---------------|-------------|------|
| 短期借入金                  | 180,000       | 160,000       | 0.81        | -    |
| 1年以内に返済予定の長期借入金        | -             | -             | -           | -    |
| 1年以内に返済予定のリース債務        | -             | -             | -           | -    |
| 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く) | -             | -             | -           | -    |
| リース債務(1年以内に返済予定のものを除く) | -             | -             | -           | -    |
| その他有利子負債               | -             | -             | -           | -    |
| 合計                     | 180,000       | 160,000       | -           | -    |

(注) 平均利率の算定方法は連結決算日現在の残高及び利率を基に算出しております。

【資産除去債務明細表】

当連結会計年度期首及び当連結会計年度末における資産除去債務の金額が、当連結会計年度期首及び当連結会計年度末における負債および純資産の合計額の100分の1以下であるため、連結財務諸表規則第92条の2の規定により記載を省略しております。

(2) 【その他】

当連結会計年度における四半期情報等

| (累計期間)                     | 第1四半期     | 第2四半期     | 第3四半期     | 当連結会計年度    |
|----------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 売上高(千円)                    | 2,895,288 | 5,782,138 | 8,486,144 | 11,157,671 |
| 税金等調整前四半期(当期)<br>純利益金額(千円) | 112,512   | 194,075   | 190,746   | 157,135    |
| 四半期(当期)純利益金額<br>(千円)       | 85,305    | 125,407   | 207,707   | 136,977    |
| 1株当たり四半期(当期)純<br>利益金額(円)   | 5.47      | 8.04      | 13.32     | 8.78       |

| (会計期間)                                     | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|--|-------|-------|-------|-------|
| 1株当たり四半期純利益金額<br>又は1株当たり四半期純損失<br>金額( )(円) | 5.47  | 2.57  | 5.28  | 4.53  |

2【財務諸表等】  
(1)【財務諸表】  
【貸借対照表】

(単位：千円)

|                  | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|------------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>      |                       |                       |
| 流動資産             |                       |                       |
| 現金及び預金           | 195,346               | 188,363               |
| 受取手形             | 192,100               | 171,719               |
| 売掛金              | 3,378,005             | 3,456,755             |
| 商品及び製品           | 31,691                | 46,643                |
| 仕掛品              | 143,520               | 119,369               |
| 原材料及び貯蔵品         | 248,685               | 209,289               |
| 前払費用             | 25,917                | 25,253                |
| 未収入金             | 261,471               | 259,659               |
| 関係会社短期貸付金        | 3,000,887             | 2,933,059             |
| その他              | 159,474               | 11,757                |
| 流動資産合計           | 7,637,100             | 7,421,870             |
| 固定資産             |                       |                       |
| 有形固定資産           |                       |                       |
| 建物               | 2,919,137             | 2,930,292             |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 2,201,908             | 2,250,959             |
| 建物(純額)           | 717,229               | 679,333               |
| 構築物              | 112,704               | 108,550               |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 99,106                | 95,115                |
| 構築物(純額)          | 13,597                | 13,435                |
| 機械及び装置           | 5,318,256             | 5,361,610             |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 4,949,650             | 4,954,697             |
| 機械及び装置(純額)       | 368,606               | 406,913               |
| 車両運搬具            | 4,250                 | 4,250                 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 2,664                 | 3,658                 |
| 車両運搬具(純額)        | 1,585                 | 591                   |
| 工具、器具及び備品        | 421,956               | 423,670               |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | 384,915               | 396,281               |
| 工具、器具及び備品(純額)    | 37,041                | 27,389                |
| 土地               | 599,736               | 599,736               |
| 建設仮勘定            | 204,020               | 29,105                |
| 有形固定資産合計         | 1,941,816             | 1,756,504             |
| 無形固定資産           |                       |                       |
| ソフトウェア           | 40,817                | 27,993                |
| その他              | 3,074                 | 2,953                 |
| 無形固定資産合計         | 43,891                | 30,947                |
| 投資その他の資産         |                       |                       |
| 投資有価証券           | 185,809               | 177,281               |
| 関係会社株式           | 1,238,346             | 1,278,914             |
| 出資金              | 15,883                | 14,445                |
| 関係会社出資金          | 8,439                 | 8,439                 |
| 従業員に対する長期貸付金     | -                     | 14,159                |
| 長期前払費用           | 4,820                 | 3,235                 |
| 前払年金費用           | 2,036,648             | 2,045,741             |
| その他              | 72,356                | 68,510                |



|              | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 貸倒引当金        | 9,150                 | 9,400                 |
| 投資その他の資産合計   | 3,553,154             | 3,601,326             |
| 固定資産合計       | 5,538,862             | 5,388,778             |
| 資産合計         | 13,175,963            | 12,810,649            |
| <b>負債の部</b>  |                       |                       |
| 流動負債         |                       |                       |
| 買掛金          | 1,236,007             | 1,168,317             |
| 未払金          | 246,013               | 158,416               |
| 未払法人税等       | 27,271                | 24,123                |
| 未払費用         | 69,873                | 74,261                |
| 前受金          | 1,540                 | 2,822                 |
| 預り金          | 22,614                | 78,455                |
| 賞与引当金        | 300,068               | 285,195               |
| 役員賞与引当金      | 13,600                | 6,900                 |
| その他          | 703                   | 11,699                |
| 流動負債合計       | 1,917,692             | 1,810,190             |
| 固定負債         |                       |                       |
| 繰延税金負債       | 867,505               | 751,005               |
| 役員退職慰労引当金    | 39,991                | 56,048                |
| 固定負債合計       | 907,497               | 807,053               |
| 負債合計         | 2,825,189             | 2,617,244             |
| <b>純資産の部</b> |                       |                       |
| 株主資本         |                       |                       |
| 資本金          | 3,806,750             | 3,806,750             |
| 資本剰余金        |                       |                       |
| 資本準備金        | 951,687               | 951,687               |
| その他資本剰余金     | 2,836,738             | 2,836,738             |
| 資本剰余金合計      | 3,788,426             | 3,788,426             |
| 利益剰余金        |                       |                       |
| 利益準備金        | 2,500                 | 2,500                 |
| その他利益剰余金     |                       |                       |
| 別途積立金        | 1,840,500             | 1,840,500             |
| 固定資産圧縮積立金    | 51,420                | 43,867                |
| 繰越利益剰余金      | 848,507               | 699,204               |
| 利益剰余金合計      | 2,742,927             | 2,586,071             |
| 自己株式         | 841                   | 868                   |
| 株主資本合計       | 10,337,262            | 10,180,379            |
| 評価・換算差額等     |                       |                       |
| その他有価証券評価差額金 | 13,510                | 13,025                |
| 評価・換算差額等合計   | 13,510                | 13,025                |
| 純資産合計        | 10,350,773            | 10,193,404            |
| 負債純資産合計      | 13,175,963            | 12,810,649            |

## 【損益計算書】

(単位：千円)

|                       | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|-----------------------|---|---|
| <b>売上高</b>            |   |   |
| 製品売上高                 | 8,360,393                                 | 7,724,801                                 |
| 商品売上高                 | 2,259,240                                 | 2,437,253                                 |
| 売上高合計                 | 10,619,633                                | 10,162,054                                |
| <b>売上原価</b>           |   |   |
| 製品売上原価                |   |   |
| 製品期首たな卸高              | 25,958                                    | 31,691                                    |
| 当期製品製造原価              | 5,921,642                                 | 5,982,112                                 |
| 合計                    | 5,947,600                                 | 6,013,804                                 |
| 製品期末たな卸高              | 31,691                                    | 46,643                                    |
| 製品売上原価                | 5,915,909                                 | 5,967,160                                 |
| 商品売上原価                |   |   |
| 当期商品仕入高               | 2,034,460                                 | 2,195,105                                 |
| 合計                    | 2,034,460                                 | 2,195,105                                 |
| 売上原価合計                | 7,950,369 <sub>1</sub>                    | 8,162,266 <sub>1</sub>                    |
| 売上総利益                 | 2,669,264                                 | 1,999,787                                 |
| 販売費及び一般管理費            | 2,409,382 <sub>2 3</sub>                  | 2,149,794 <sub>2 3</sub>                  |
| 営業利益又は営業損失( )         | 259,881                                   | 150,006                                   |
| <b>営業外収益</b>          |   |   |
| 受取利息                  | 17,343                                    | 17,196                                    |
| 受取配当金                 | 712,059                                   | 6,709                                     |
| 受取賃貸料                 | 60,300                                    | 60,300                                    |
| その他                   | 42,199                                    | 28,137                                    |
| 営業外収益合計               | 831,902 <sub>4</sub>                      | 112,342 <sub>4</sub>                      |
| <b>営業外費用</b>          |   |   |
| 為替差損                  | 46,881                                    | 9,141                                     |
| 支払利息                  | 50  | 83  |
| 貸倒引当金繰入額              | 350                                       | 250                                       |
| 賃貸費用                  | 5,652                                     | 5,716                                     |
| その他                   | 9,411                                     | 8,374                                     |
| 営業外費用合計               | 62,345                                    | 23,565                                    |
| 経常利益又は経常損失( )         | 1,029,438                                 | 61,230                                    |
| <b>特別利益</b>           |   |   |
| 固定資産売却益               | 4 <sub>5</sub>                            | 49 <sub>5</sub>                           |
| 特別利益合計                | 4   | 49  |
| <b>特別損失</b>           |   |   |
| 固定資産売却損               | 71 <sub>6</sub>                           | 221 <sub>6</sub>                          |
| 固定資産除却損               | 8,042 <sub>7</sub>                        | 4,100 <sub>7</sub>                        |
| 投資有価証券評価損             | 3,112                                     | 9,696                                     |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額   | 14,400                                    | -   |
| 関係会社清算損               | 3,687                                     | -   |
| 減損損失                  | -   | 57,332 <sub>8</sub>                       |
| 特別損失合計                | 29,314                                    | 71,350                                    |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失( ) | 1,000,129                                 | 132,530                                   |
| 法人税、住民税及び事業税          | 14,751                                    | 13,908                                    |
| 法人税等調整額               | 38,543                                    | 114,372                                   |

|                 | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 法人税等合計          | 53,294                                    | 100,464                                   |
| 当期純利益又は当期純損失( ) | 946,835                                   | 32,065                                    |

【製造原価明細書】  
 製品製造原価明細書

| 区分         | 注記<br>番号 | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) |            | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |            |
|------------|----------|---|------------|---|------------|
|            |          | 金額(千円)                                    | 構成比<br>(%) | 金額(千円)                                    | 構成比<br>(%) |
| 材料費        | 1        | 1,665,360                                 | 39.0       | 1,528,760                                 | 35.0       |
| 労務費        |          | 1,368,101                                 | 32.0       | 1,689,889                                 | 39.0       |
| 経費         |          | 1,236,803                                 | 29.0       | 1,121,271                                 | 26.0       |
| 当期総製造費用    |          | 4,270,265                                 | 100.0      | 4,339,921                                 | 100.0      |
| 期首仕掛品たな卸高  | 2        | 176,466                                   |            | 143,520                                   |            |
| 合計         |          | 4,446,731                                 |            | 4,483,442                                 |            |
| 期末仕掛品たな卸高  |          | 143,520                                   |            | 119,369                                   |            |
| 他勘定振替高     |          | 129,045                                   |            | 116,693                                   |            |
| 当期製品社内製造原価 |          | 4,174,165                                 |            | 4,247,379                                 |            |
| 当期製品仕入高    |          | 1,747,477                                 |            | 1,734,733                                 |            |
| 当期製品製造原価   |          | 5,921,642                                 |            | 5,982,112                                 |            |

原価計算の方法

予定原価に基づく組別総合原価計算を採用しております。原価差額は、期末の製品、仕掛品及び売上原価に配賦しております。

(注) 1. 主な内訳は次のとおりであります。

| 項目        | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|-----------|---|---|
| 外注加工費(千円) | 482,586                                   | 344,968                                   |
| 減価償却費(千円) | 170,690                                   | 179,493                                   |

2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

| 項目             | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|----------------|---|---|
| 固定資産(千円)       | 1,445                                     | 53  |
| 販売費及び一般管理費(千円) | 80  | 250                                       |
| 製造費用他(千円)      | 127,520                                   | 116,389                                   |
| 合計(千円)         | 129,045                                   | 116,693                                   |

## 【株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

|                  | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|------------------|---|---|
| <b>株主資本</b>      |   |   |
| <b>資本金</b>       |   |   |
| 当期首残高            | 3,806,750                                 | 3,806,750                                 |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 3,806,750                                 | 3,806,750                                 |
| <b>資本剰余金</b>     |   |   |
| <b>資本準備金</b>     |   |   |
| 当期首残高            | 951,687                                   | 951,687                                   |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 951,687                                   | 951,687                                   |
| <b>その他資本剰余金</b>  |   |   |
| 当期首残高            | 2,836,738                                 | 2,836,738                                 |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 2,836,738                                 | 2,836,738                                 |
| <b>資本剰余金合計</b>   |   |   |
| 当期首残高            | 3,788,426                                 | 3,788,426                                 |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 3,788,426                                 | 3,788,426                                 |
| <b>利益剰余金</b>     |   |   |
| <b>利益準備金</b>     |   |   |
| 当期首残高            | 2,500                                     | 2,500                                     |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 2,500                                     | 2,500                                     |
| <b>その他利益剰余金</b>  |   |   |
| <b>別途積立金</b>     |   |   |
| 当期首残高            | 1,840,500                                 | 1,840,500                                 |
| 当期変動額            |   |   |
| 当期変動額合計          | -   | -   |
| 当期末残高            | 1,840,500                                 | 1,840,500                                 |
| <b>固定資産圧縮積立金</b> |   |   |
| 当期首残高            | 65,368                                    | 51,420                                    |
| 当期変動額            |   |   |
| 固定資産圧縮積立金の取崩     | 13,947                                    | 7,553                                     |
| 当期変動額合計          | 13,947                                    | 7,553                                     |
| 当期末残高            | 51,420                                    | 43,867                                    |
| <b>繰越利益剰余金</b>   |   |   |
| 当期首残高            | 3,083                                     | 848,507                                   |
| 当期変動額            |   |   |
| 固定資産圧縮積立金の取崩     | 13,947                                    | 7,553                                     |
| 剰余金の配当           | 109,192                                   | 124,790                                   |
| 当期純利益又は当期純損失( )  | 946,835                                   | 32,065                                    |

|                     | 前事業年度<br>(自 平成22年 4月 1日<br>至 平成23年 3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年 4月 1日<br>至 平成24年 3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 当期変動額合計             | 851,590                                   | 149,303                                   |
| 当期末残高               | 848,507                                   | 699,204                                   |
| 利益剰余金合計             |   |   |
| 当期首残高               | 1,905,285                                 | 2,742,927                                 |
| 当期変動額               |   |   |
| 固定資産圧縮積立金の取崩        | -   | -   |
| 剰余金の配当              | 109,192                                   | 124,790                                   |
| 当期純利益又は当期純損失( )     | 946,835                                   | 32,065                                    |
| 当期変動額合計             | 837,642                                   | 156,856                                   |
| 当期末残高               | 2,742,927                                 | 2,586,071                                 |
| 自己株式                |   |   |
| 当期首残高               | 746                                       | 841                                       |
| 当期変動額               |   |   |
| 自己株式の取得             | 95  | 27  |
| 当期変動額合計             | 95  | 27  |
| 当期末残高               | 841                                       | 868                                       |
| 株主資本合計              |   |   |
| 当期首残高               | 9,499,715                                 | 10,337,262                                |
| 当期変動額               |   |   |
| 剰余金の配当              | 109,192                                   | 124,790                                   |
| 当期純利益又は当期純損失( )     | 946,835                                   | 32,065                                    |
| 自己株式の取得             | 95  | 27  |
| 当期変動額合計             | 837,547                                   | 156,883                                   |
| 当期末残高               | 10,337,262                                | 10,180,379                                |
| 評価・換算差額等            |   |   |
| その他有価証券評価差額金        |   |   |
| 当期首残高               | 20,358                                    | 13,510                                    |
| 当期変動額               |   |   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 6,847                                     | 485                                       |
| 当期変動額合計             | 6,847                                     | 485                                       |
| 当期末残高               | 13,510                                    | 13,025                                    |
| 評価・換算差額等合計          |   |   |
| 当期首残高               | 20,358                                    | 13,510                                    |
| 当期変動額               |   |   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 6,847                                     | 485                                       |
| 当期変動額合計             | 6,847                                     | 485                                       |
| 当期末残高               | 13,510                                    | 13,025                                    |
| 純資産合計               |   |   |
| 当期首残高               | 9,520,073                                 | 10,350,773                                |
| 当期変動額               |   |   |
| 剰余金の配当              | 109,192                                   | 124,790                                   |
| 当期純利益又は当期純損失( )     | 946,835                                   | 32,065                                    |
| 自己株式の取得             | 95  | 27  |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 6,847                                     | 485                                       |
| 当期変動額合計             | 830,700                                   | 157,368                                   |
| 当期末残高               | 10,350,773                                | 10,193,404                                |

【重要な会計方針】

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

イ 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定）

ロ 時価のないもの

移動平均法による原価法

2. デリバティブの評価基準及び評価方法

原則として時価法

3. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 原材料及び貯蔵品

移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(2) 商品及び製品、仕掛品

総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

4. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

建物（附属設備を除く）は定額法、建物以外については定率法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 2年～40年

機械及び装置 2年～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は自社利用のソフトウェア5年であります。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員の賞与の支出に備えるため、当事業年度末における支給見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

なお、当事業年度において、年金資産の額が企業年金制度に係る退職給付債務に当該企業年金制度に係る未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異を加減した額を超えているため、前払年金費用として貸借対照表の投資その他の資産の部に計上しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、振当処理を採用しているものを除き、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 7. ヘッジ会計の方法

### (1) ヘッジ会計の方法

為替予約取引は振当処理によっております。

### (2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...為替予約取引

ヘッジ対象...外貨建金銭債権

### (3) ヘッジ方針

為替予約取引

将来予想される外貨建金銭債権回収に係る為替変動リスクを回避する目的で為替予約取引を行っており、投機的な取引は行っておりません。

### (4) ヘッジ有効性評価の方法

為替予約取引

為替相場の変動によるキャッシュ・フローの変動を完全に相殺するものと想定されるため、有効性の評価は省略しております。

## 8. その他財務諸表作成のための重要な事項

### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### 【表示方法の変更】

#### (貸借対照表)

前事業年度において、独立掲記していた「流動資産」の「未収還付法人税等」は、資産の総額の100分の1以下となったため、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「未収還付法人税等」に表示していた142,146千円は、「その他」として組み替えております。

#### (損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取賃貸料」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた102,499千円は、「受取賃貸料」60,300千円、「その他」42,199千円として組み替えております。

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「賃貸費用」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた15,063千円は、「賃貸費用」5,652千円、「その他」9,411千円として組み替えております。

### 【追加情報】

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。



【注記事項】

(貸借対照表関係)

1 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

|      | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 流動資産 |                       |                       |
| 売掛金  | 45,835 千円             | 56,124 千円             |
| 未収入金 | 192,667               | 209,883               |
| 流動負債 |                       |                       |
| 買掛金  | 383,265               | 388,325               |

(損益計算書関係)

1 売上原価の中には関係会社からのものが次のとおり含まれております。

|        | 前事業年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 製商品仕入高 | 4,254,298千円                          | 4,467,558千円                          |

2 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度30%、当事業年度34%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度70%、当事業年度66%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

|              | 前事業年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 研究開発費        | 675,784 千円                           | 451,183 千円                           |
| 給与賃金・賞与金     | 630,866                              | 605,011                              |
| 役員報酬         | 129,869                              | 132,093                              |
| 福利厚生費        | 103,832                              | 108,917                              |
| 退職給付費用       | 77,028                               | 100,204                              |
| 賞与引当金繰入額     | 74,832                               | 73,777                               |
| 役員賞与引当金繰入額   | 13,600                               | 6,900                                |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 13,660                               | 16,057                               |
| 支払手数料        | 217,952                              | 228,592                              |
| 賃借料          | 117,918                              | 114,348                              |
| 減価償却費        | 10,066                               | 11,483                               |

3 一般管理費に含まれる研究開発費の総額は次のとおりであります。

|  | 前事業年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
|  | 675,784 千円                           | 451,183 千円                           |

4 営業外収益の中には関係会社からのものが次のとおり含まれております。

|       | 前事業年度<br>(自平成22年4月1日<br>至平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自平成23年4月1日<br>至平成24年3月31日) |
|-------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 受取利息  | 17,326 千円                            | 17,183 千円                            |
| 受取配当金 | 707,000                              | -                                    |
| 受取賃貸料 | 60,300                               | 60,300                               |
| その他   | 5,276                                | 5,697                                |

5 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

|        | 前事業年度<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成24年3月31日) |
|--------|--|--|
| 機械及び装置 | 4 千円                                   | 49 千円                                  |

6 固定資産売却損の内容は次のとおりであります。

|        | 前事業年度<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成24年3月31日) |
|--------|--|--|
| 機械及び装置 | 71 千円                                  | 221 千円                                 |

7 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

|             | 前事業年度<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成24年3月31日) |
|-------------|--|--|
| 建物          | 936 千円                                 | 3,020 千円                               |
| 構築物         | -                                      | 1                                      |
| 機械及び装置      | 1,815                                  | 748                                    |
| 工具、器具及び備品   | 921                                    | 330                                    |
| 無形固定資産(その他) | 4,370                                  | -                                      |
| 計           | 8,042                                  | 4,100                                  |

8 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| 場所      | 用途          | 種類        |
|---------|-------------|-----------|
| 長野県佐久市他 | LCフィルタ用事業資産 | 建物、機械装置 他 |

当社におけるグルーピングは、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位である、管理会計上使用している単位を基礎としております。

LCフィルタ用事業資産については、一般産業機器等のLCフィルタを取り巻く市場環境の変化等により収益性が低下したため、回収可能価額まで減額し、減損損失(57,332千円)を特別損失に計上しました。その内訳は、建物1,777千円、機械及び装置55,372千円および工具、器具及び備品182千円であります。

回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。正味売却価額は、主として見積売却価額に基づき評価しており、売却見込みのない資産については零としております。

なお、前事業年度については、該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

|      | 当事業年度期首株式数(株) | 当事業年度増加株式数(株) | 当事業年度減少株式数(株) | 当事業年度末株式数(株) |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 普通株式 | 977           | 227           | -             | 1,204        |
| 合計   | 977           | 227           | -             | 1,204        |

(注) 普通株式の自己株式の増加227株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

当事業年度(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

|      | 当事業年度期首株式数(株) | 当事業年度増加株式数(株) | 当事業年度減少株式数(株) | 当事業年度末株式数(株) |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 普通株式 | 1,204         | 68            | -             | 1,272        |
| 合計   | 1,204         | 68            | -             | 1,272        |

(注) 普通株式の自己株式の増加68株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

(リース取引関係)

1. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位:千円)

|     | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|-----|-----------------------|-----------------------|
| 1年内 | 48,011                | 1,064                 |
| 1年超 | 4,080                 | 3,015                 |
| 合計  | 52,091                | 4,080                 |

(有価証券関係)

子会社株式および関係会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は関係会社株式1,278,914千円、前事業年度の貸借対照表計上額は関係会社株式1,238,346千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|              | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| (1) 流動の部     |                       |                       |
| 繰延税金資産       |                       |                       |
| 賞与引当金        | 121,317千円             | 106,863千円             |
| 未払社会保険料等     | 14,703                | 13,230                |
| 未払事業税        | 5,575                 | 3,972                 |
| その他          | 2,809                 | 3,078                 |
| 繰延税金資産小計     | 144,406               | 127,143               |
| 評価性引当額       | 144,406               | 127,143               |
| 繰延税金資産合計     | -                     | -                     |
| (2) 固定の部     |                       |                       |
| 繰延税金資産       |                       |                       |
| 役員退職慰労引当金    | 16,168                | 19,668                |
| 貸倒引当金        | 3,699                 | 3,298                 |
| 減価償却超過額      | 38,163                | 27,970                |
| 減損損失         | 213,827               | 165,432               |
| 繰越欠損金        | 826,685               | 798,940               |
| その他          | 9,504                 | 8,759                 |
| 繰延税金資産小計     | 1,108,046             | 1,024,067             |
| 評価性引当額       | 1,108,046             | 1,024,067             |
| 繰延税金資産合計     | -                     | -                     |
| 繰延税金負債       |                       |                       |
| 固定資産圧縮積立金    | 34,919                | 24,885                |
| その他有価証券評価差額金 | 9,169                 | 7,042                 |
| 前払年金費用       | 823,417               | 719,078               |
| 繰延税金負債合計     | 867,505               | 751,005               |
| 繰延税金負債の純額    | 867,505               | 751,005               |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

|                      | 前事業年度<br>(平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(平成24年3月31日) |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 法定実効税率               | 40.4%                 | 40.1%                 |
| (調整)                 |                       |                       |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目   | 0.9                   | 5.1                   |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 | 28.7                  | 1.0                   |
| 住民税均等割               | 1.4                   | 10.2                  |
| 評価性引当額               | 8.6                   | 39.9                  |
| グループ会社税制による欠損金の引継    | -                     | 2.7                   |
| 税率変更による期末繰延税金負債の減額修正 | -                     | 83.7                  |
| その他                  | 0.1                   | 3.5                   |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率    | 5.3                   | 75.8                  |

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から平成24年4月1日に開始する事業年度から平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については37.5%に、平成27年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.1%となります。

この税率変更により、繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)は111,997千円、法人税等調整額が110,927千円、それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が1,071千円増加しております。

(企業結合等関係)  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

|                               | 前事業年度<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成24年3月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額                     | 663.56円                                | 653.48円                                |
| 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額( ) | 60.70円                                 | 2.06円                                  |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
 2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                            | 前事業年度<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日) | 当事業年度<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成24年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失( )(千円)        | 946,835                                | 32,065                                 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)           | -                                      | -                                      |
| 普通株式に係る当期純利益又は当期純損失( )(千円) | 946,835                                | 32,065                                 |
| 期中平均株式数(株)                 | 15,598,867                             | 15,598,768                             |

(重要な後発事象)  
 該当事項はありません。

【附属明細表】  
 【有価証券明細表】  
 (株式)

|        |             | 銘柄                   | 株式数(株)  | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|--------|-------------|----------------------|---------|------------------|
| 投資有価証券 | その他有<br>価証券 | (株)京三製作所             | 75,731  | 26,884           |
|        |             | 三菱電機(株)              | 26,740  | 19,574           |
|        |             | 雙信電子通信(株)            | 35,200  | 23,697           |
|        |             | (株)三菱UFJフィナンシャル・グループ | 34,880  | 14,370           |
|        |             | 日本無線(株)              | 60,807  | 12,161           |
|        |             | 沖電気工業(株)             | 95,554  | 11,944           |
|        |             | (株)ソディック             | 21,500  | 9,739            |
|        |             | (株)日立国際電気            | 13,664  | 10,370           |
|        |             | 日本信号(株)              | 13,854  | 7,162            |
|        |             | アンリツ(株)              | 11,302  | 12,251           |
|        |             | その他(17銘柄)            | 134,812 | 29,124           |
|        |             |                      | 小計      | 524,048          |
|        |             | 計                    | 524,048 | 177,281          |

【有形固定資産等明細表】

| 資産の種類     | 当期首残高<br>(千円) | 当期増加額<br>(千円) | 当期減少額<br>(千円) | 当期末残高<br>(千円) | 当期末減価<br>償却累計額<br>及び減損損失<br>累計額又は<br>償却累計額<br>(千円) | 当期償却額<br>(千円)       | 差引当期末<br>残高<br>(千円) |
|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|---------------------|---------------------|
| 有形固定資産    |               |               |               |               |  |                     |                     |
| 建物        | 2,919,137     | 27,537        | 16,382        | 2,930,292     | 2,250,959  | 60,636<br>(1,777)   | 679,333             |
| 構築物       | 112,704       | 1,175         | 5,329         | 108,550       | 95,115   | 1,336<br>(-)        | 13,435              |
| 機械及び装置    | 5,318,256     | 272,670       | 229,316       | 5,361,610     | 4,954,697  | 175,685<br>(55,372) | 406,913             |
| 車両運搬具     | 4,250         | -             | -             | 4,250         | 3,658  | 993<br>(-)          | 591                 |
| 工具、器具及び備品 | 421,956       | 24,393        | 22,679        | 423,670       | 396,281  | 33,532<br>(182)     | 27,389              |
| 土地        | 599,736       | -             | -             | 599,736       | -  | -                   | 599,736             |
| 建設仮勘定     | 204,020       | 122,348       | 297,263       | 29,105        | -  | -                   | 29,105              |
| 有形固定資産計   | 9,580,063     | 448,126       | 570,973       | 9,457,216     | 7,700,711  | 272,184<br>(57,332) | 1,756,504           |
| 無形固定資産    |               |               |               |               |  |                     |                     |
| ソフトウェア    | 395,889       | 7,665         | -             | 403,555       | 375,562  | 20,489              | 27,993              |
| その他       | 4,335         | -             | -             | 4,335         | 1,382  | 120                 | 2,953               |
| 無形固定資産計   | 400,224       | 7,665         | -             | 407,890       | 376,943  | 20,610              | 30,947              |
| 長期前払費用    | 4,820         | 3,926         | 5,511         | 3,235         | -  | -                   | 3,235               |

(注)

1. 「当期償却額」欄の( )内は内書きで、減損損失の累計額であります。

2. 当期増加額の主なものは、下記のとおりであります。

機械及び装置 平滑コンデンサ開発・製造設備 135,327千円  
 ノイズテスト用設備 47,994千円

3. 当期減少額の主なものは、下記のとおりであります。

建物 除却による減少 3,020千円  
 機械及び装置 売却による減少 2,557千円

【引当金明細表】

| 区分        | 当期首残高<br>(千円) | 当期増加額<br>(千円) | 当期減少額<br>(目的使用)<br>(千円) | 当期減少額<br>(その他)<br>(千円) | 当期末残高<br>(千円) |
|-----------|---------------|---------------|-------------------------|------------------------|---------------|
| 貸倒引当金     | 9,150         | 250           | -                       | -                      | 9,400         |
| 賞与引当金     | 300,068       | 285,195       | 300,068                 | -                      | 285,195       |
| 役員賞与引当金   | 13,600        | 6,900         | 6,800                   | 6,800                  | 6,900         |
| 役員退職慰労引当金 | 39,991        | 16,057        | -                       | -                      | 56,048        |



(2)【主な資産及び負債の内容】

資産の部

イ．現金及び預金

| 区分   | 金額(千円)  |
|------|---------|
| 現金   | 227     |
| 預金   |         |
| 当座預金 | 134,198 |
| 普通預金 | 53,937  |
| 小計   | 188,135 |
| 計    | 188,363 |

ロ．受取手形

(イ) 相手先別内訳

| 相手先         | 金額(千円)  |
|-------------|---------|
| 大同信号(株)     | 71,246  |
| 岡本無線電機(株)   | 10,891  |
| 飯田通商(株)     | 10,524  |
| ダイヘン産業機器(株) | 8,847   |
| 日本信号(株)     | 6,980   |
| その他         | 63,230  |
| 計           | 171,719 |

(ロ) 期日別内訳

| 期日別      | 金額(千円)  |
|----------|---------|
| 平成24年 4月 | 19,548  |
| 5月       | 17,173  |
| 6月       | 7,741   |
| 7月       | 80,085  |
| 8月       | 47,032  |
| 9月       | 138     |
| 計        | 171,719 |

八．売掛金

(イ) 相手先別内訳

| 相手先      | 金額(千円)    |
|----------|-----------|
| ソニー(株)   | 401,726   |
| (株)日立製作所 | 318,088   |
| (株)東芝    | 312,982   |
| (株)デンソー  | 256,838   |
| 三菱電機(株)  | 155,069   |
| その他      | 2,012,049 |
| 計        | 3,456,755 |

(ロ) 売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

| 当期首残高<br>(千円) | 当期発生高<br>(千円) | 当期回収高<br>(千円) | 当期末残高<br>(千円) | 回収率(%)<br>(C)<br>× 100<br>(A) + (B) | 滞留期間(日)<br>(A) + (D) ÷ (B) |
|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------------------|----------------------------|
| (A)           | (B)           | (C)           | (D)           |                                     |                            |
| 3,378,005     | 10,589,756    | 10,511,006    | 3,456,755     | 75.25                               | 117.79                     |

(注) 記載金額には、消費税等が含まれております。

二．商品及び製品

| 品名       | 金額(千円) |
|----------|--------|
| 産業機器市場   | 45,355 |
| 情報通信機器市場 | 712    |
| その他      | 576    |
| 計        | 46,643 |

ホ．仕掛品

| 品名       | 金額(千円)  |
|----------|---------|
| 産業機器市場   | 27,355  |
| 情報通信機器市場 | 92,013  |
| 計        | 119,369 |

へ．原材料及び貯蔵品

| 品名    | 金額(千円)  |
|-------|---------|
| コア    | 25,422  |
| フィルタ  | 24,482  |
| 樹脂    | 17,262  |
| ケ-ス   | 14,352  |
| コンデンサ | 7,389   |
| その他   | 120,382 |
| 計     | 209,289 |

ト．関係会社短期貸付金

| 相手先         | 金額(千円)    |
|-------------|-----------|
| 日本碍子(株)     | 2,927,948 |
| 双信パワーテック(株) | 5,111     |
| 計           | 2,933,059 |

チ．関係会社株式

| 相手先                | 金額(千円)    |
|--------------------|-----------|
| 双信エレクトロニクスマレーシア    | 638,324   |
| 双信デバイス(株)          | 256,256   |
| 双信電子(香港)有限公司       | 174,505   |
| 双信パワーテック(株)        | 100,000   |
| 立信電子(株)            | 84,555    |
| 台湾双信電機股?有限公司       | 14,488    |
| 双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ | 10,785    |
| 計                  | 1,278,914 |

リ．前払年金費用

| 区分     | 金額(千円)    |
|--------|-----------|
| 前払年金費用 | 2,045,741 |
| 計      | 2,045,741 |

負債の部  
イ．買掛金

| 相手先             | 金額(千円)    |
|-----------------|-----------|
| 三菱UFJファクター(株)   | 436,142   |
| 双信デバイス(株)       | 230,224   |
| 双信パワーテック(株)     | 89,410    |
| 双信エレクトロニクスマレーシア | 47,108    |
| デュボン(株)         | 30,183    |
| その他             | 335,247   |
| 計               | 1,168,317 |

ロ．繰延税金負債

繰延税金負債は、751,005千円であり、その内容については「2 財務諸表等(1) 財務諸表 注記事項(税効果会計関係)」に記載しております。

(3) 【その他】

該当事項はありません。

## 第6【提出会社の株式事務の概要】

|                |   |
|----------------|---|
| 事業年度           | 4月1日から3月31日まで   |
| 定時株主総会         | 6月中   |
| 基準日            | 3月31日   |
| 剰余金の配当の基準日     | 9月30日<br>3月31日  |
| 1単元の株式数        | 100株  |
| 単元未満株式の買取り、売渡し |   |
| 取扱場所           | (特別口座)<br>東京都千代田区丸の内一丁目四番一号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 株主名簿管理人        | (特別口座)<br>東京都千代田区丸の内一丁目四番一号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 取次所<br>買取手数料   | 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額   |
| 公告掲載方法         | 電子公告により行う。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。<br>公告掲載URL<br><a href="http://www.soshin.co.jp">http://www.soshin.co.jp</a> |
| 株主に対する特典       | 該当事項はありません。   |

## 第7【提出会社の参考情報】

### 1【提出会社の親会社等の情報】

当社は、金融商品取引法第24条の7第1項に規定する親会社等はありません。

### 2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

#### (1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度（第69期）（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）平成23年6月24日関東財務局長に提出

#### (2) 内部統制報告書及びその添付書類

平成23年6月24日関東財務局長に提出

#### (3) 四半期報告書及び確認書

（第70期第1四半期）（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）平成23年8月11日関東財務局長に提出。

（第70期第2四半期）（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）平成23年11月11日関東財務局長に提出。

（第70期第3四半期）（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）平成24年2月13日関東財務局長に提出。

#### (4) 臨時報告書

平成23年6月24日関東財務局長に提出

企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2（株主総会における議決権行使の結果）に基づく臨時報告書であります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成24年6月26日

双信電機株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森谷和正 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中島達弥 印

#### <財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている双信電機株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

#### 連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、双信電機株式会社及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。



#### < 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、双信電機株式会社の平成24年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。

#### 内部統制報告書に対する経営者の責任

経営者の責任は、財務報告に係る内部統制を整備及び運用し、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して内部統制報告書を作成し適正に表示することにある。

なお、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した内部統制監査に基づいて、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき内部統制監査を実施することを求めている。

内部統制監査においては、内部統制報告書における財務報告に係る内部統制の評価結果について監査証拠を入手するための手続が実施される。内部統制監査の監査手続は、当監査法人の判断により、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性に基づいて選択及び適用される。また、内部統制監査には、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果について経営者が行った記載を含め、全体としての内部統制報告書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、双信電機株式会社が平成24年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価結果について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

平成24年6月26日

双信電機株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森谷和正 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中島達弥 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている双信電機株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第70期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、双信電機株式会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。